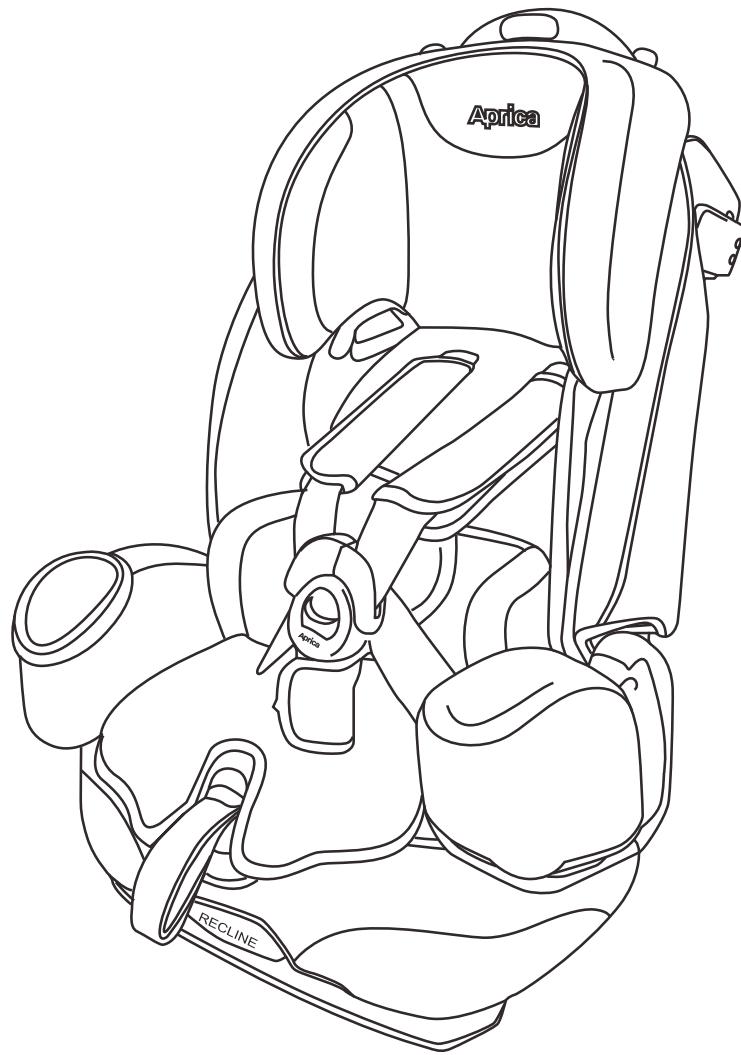


Aprica



ユーロハーネスDX 取扱説明書

目次

警告.....	3-6
各部名称.....	7-8
チャイルドシートの組み立て.....	9-13
ハーネスストラップを使用する場合.....	14
ハーネスストラップを使用しない場合.....	15
バックサポートを使用しない場合.....	16
車内でのチャイルドシートの適切な取り付け位置.....	17-20
ハーネスストラップを使用する場合.....	21-26
チャイルドシートの取り付け方.....	27-29
お子様の座らせ方.....	30-32
ハーネスストラップの取り外し方.....	33-37
ハーネスストラップを使用しない場合.....	38-40
お子様の座らせ方およびチャイルドシートの取り付け方.....	41
ヘッドサポートの調節.....	42-43
バックサポートなしでご使用の場合.....	44-46
ショルダーベルト調節クリップの使い方.....	47-50
リクライニング.....	51
シートカバーの取り外し方.....	52
取扱説明書の収納場所.....	53
保証とアフターサービスについて.....	54
保管の仕方.....	55
廃棄方法.....	55
シートカバーの洗濯.....	55
保証書.....	56-57

警告

はじめに

保護者およびその他ご使用になられる方へ
この取扱説明書および車の説明書をご覧になり理解されたうえで、このチャイルドシートの組み立てを行ってください。

ご使用の際チャイルドシートのベルト腰部分をアームレスト下にある赤のベルト用ガイドに適切に通し、バックサポート使用時は赤のショルダーベルト用ガイドに斜めに通す、あるいは背もたれのないブースターシートとして使用時は赤のショルダーベルトポジショニングクリップに通すことが**特に重要です**。ベルトにねじれがないことを確認してください。

また固定されていない椅子や車のドアにはさまれないよう、チャイルドシートの設置および装着位置に**気を付けてください**。

このチャイルドシートの適切な使用方法が守られなかった場合、急ハンドルや急停止、または衝突による死亡および重症事故の危険性が高くなります。衝突事故でない場合でもお子様が車内で負傷する危険性があります。チャイルドシートが適切に装着されていない、あるいはお子様がチャイルドシートにしっかりと拘束されていない場合、急停止や急ハンドルでの負傷につながる恐れがあります。

お子様の安全のために、チャイルドシートの適切な設置と使用は大変重要です。

このチャイルドシートは必ず前向きで使用してください。

使用説明書を必ず読み理解し、その内容に従ってください。

部品や使用、取り扱い方法などのご質問は、当社サービス係までお問い合わせください。お客様のご質問に効率よくお答えするため、お問い合わせの際には製品品番、ロットナンバーをあらかじめお調べいただきますようお願いいたします。製品番号等はチャイルドシート底面にあるシールに記載されています。

説明書はリクライニングレバー(P7参照)下のスロットに保管してください。

車の使用説明書も必ずお読みください。お子様の安全のため以下の内容をお守りください。

1. ハーネスストラップをお子様に適したスロットに差し込む。
2. チャイルドシートを車内の適した位置に設置する。
3. 車のシートベルトは適切に装着し固定する。
4. お子様をしっかりとチャイルドシートに拘束する。

重要な警告

1. この製品は「ユニバーサル仕様」のチャイルドシートです。ECE R44/04において、ほとんどの車の座席に適合すると承認されています。
2. 車の使用説明書の中で、その車に「ユニバーサル仕様」のチャイルドシート設置が可能である」と車メーカーが記載している場合、このチャイルドシートが使用可能であると考えられます。
3. この製品は、この警告が記載される以前の製品と比較して、より厳しい条件において「ユニバーサル仕様」であると分類されたものです。
4. ご不明な点がございましたら、チャイルドシートの製造者あるいは販売店にお問い合わせください。
5. 本装置は、ECE 規則No.16 または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
この製品に他のメーカー製シートカバーを使用しないでください。

説明書に記載されていない状態でのご使用はおやめください。

使用条件以外でのご使用はおやめください。

フロントエアバッグが装着された座席にこの製品を設置しないでください。フロントエアバッグが作動する際の衝撃により、死亡や重傷の原因となります。お持ちの車の使用説明書にあるフロントエアバッグ装着位置またチャイルドシート設置に関する記載を参照してください。

お子様を車内に放置しないでください。

シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かないでください。衝突や急ブレーキ時に車内に転がり、運転の妨げになることがあります。

車内に固定されていない荷物やその他を放置しないでください。衝突時ケガの原因となる場合があります。

いかなる場合でも事故や落下、放り投げにより強い衝撃が加わったチャイルドシートはご使用になれません。いかなる事故の場合でも事故後はチャイルドシートを取り変えてください。事故によりチャイルドシートに目に見えない損傷が起こっている可能性があります。

チャイルドシートを改造したり、他のメーカー製の付属品や部品を使用しないでください。

チャイルドシートに損傷や部品の欠損がある場合、使用しないでください。切れ目や擦り切れ、損傷のあるチャイルドシートのハーネスや車のシートベルトを使用しないでください。

可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないように本品を取り付けてください。

チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。ご使用の前に大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さを確認し、やけどのおそれがないことを確認してください。

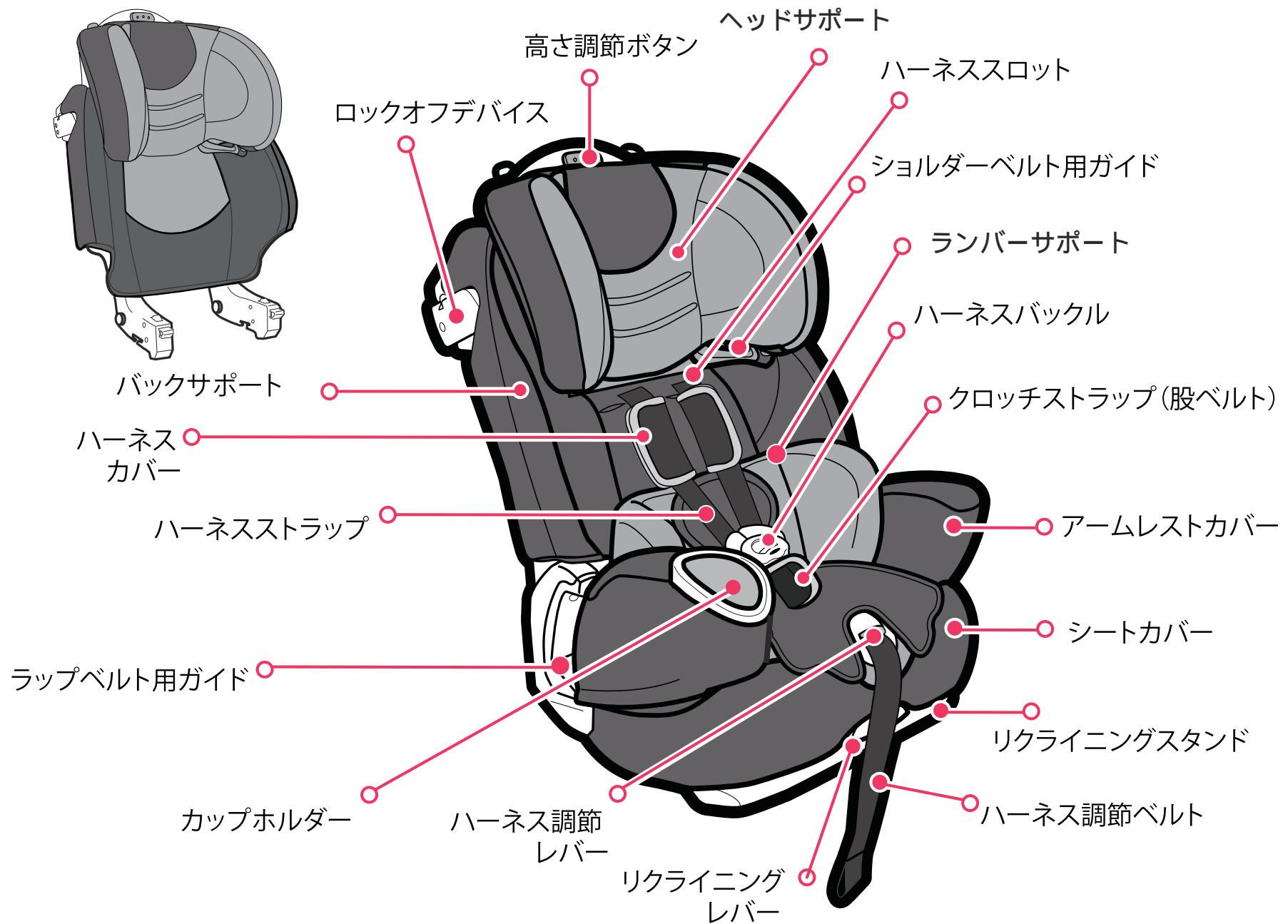
この使用説明書を添付せずに、チャイルドシートを譲渡しないでください。

中古品や使用履歴が不明なチャイルドシートを使用しないでください。

保守・管理方法

- チャイルドシートの連続的な使用は車のシートの損傷につながる場合があります。特に革仕様の場合は傷の発生や革が伸びる場合がありますので取り付けをお勧めできません。
- 金属およびプラスチック製部品: 中性洗剤と水で洗浄してください。漂白剤や合成洗剤を使用しないでください。
- チャイルドシートに生地に擦り切れやほつれがないか適宜確認してください。チャイルドシートの補修はおやめください。補修が必要な場合はチャイルドシートを取りえてください。
- シートカバーなしでチャイルドシートを使用しないでください。

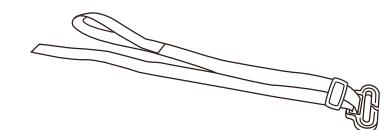
各部名称



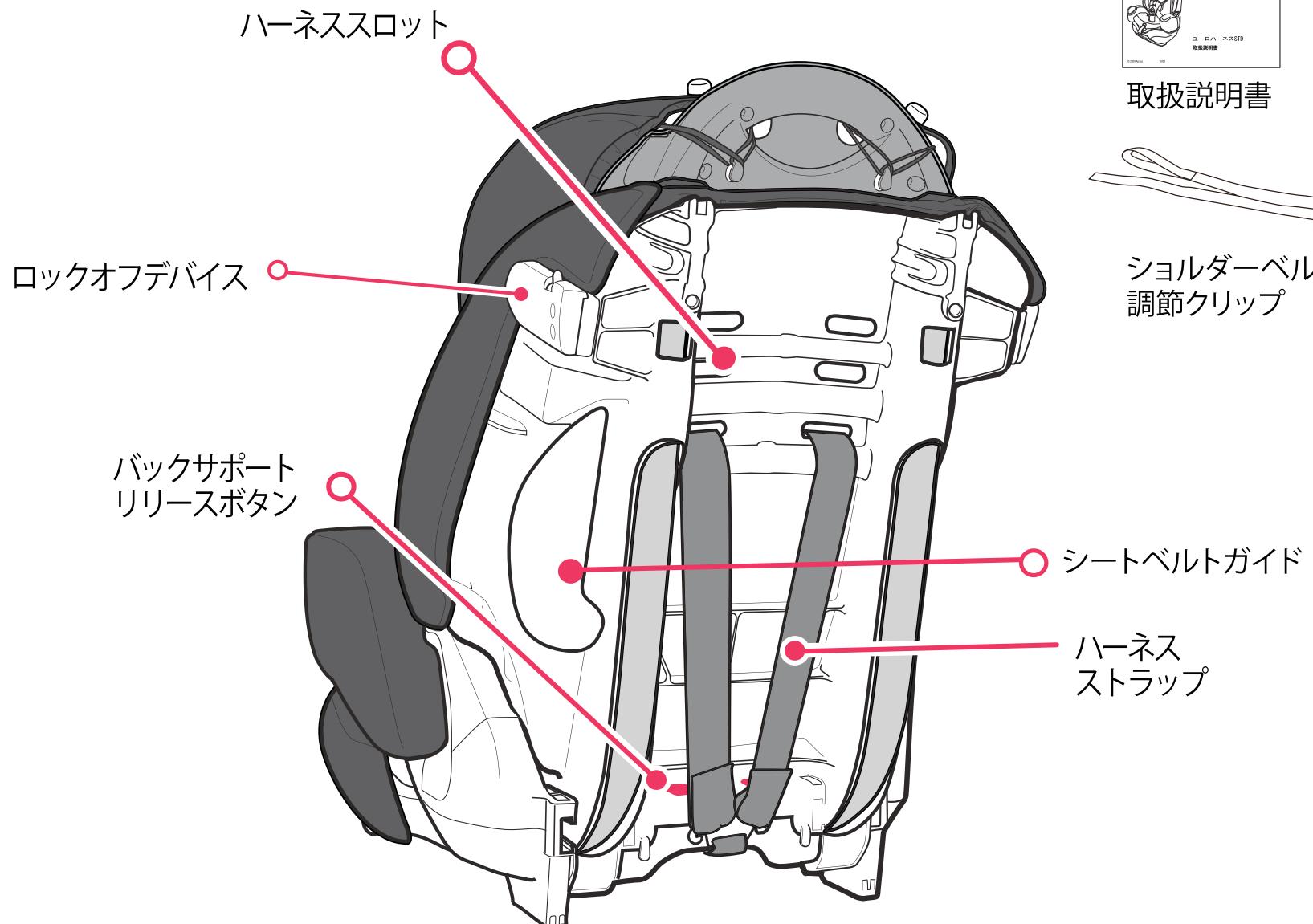
付属品



取扱説明書



ショルダーベルト
調節クリップ



チャイルドシートの組み立て

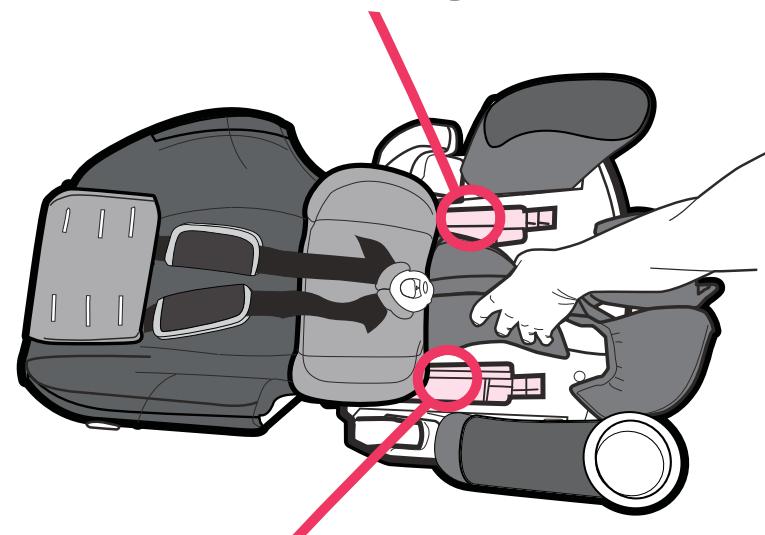
組み立ては大人が行ってください。

1. チャイルドシートの背を下にして置きます。シートカバー座部の生地を引っ張り、①のように溝を表に出します。

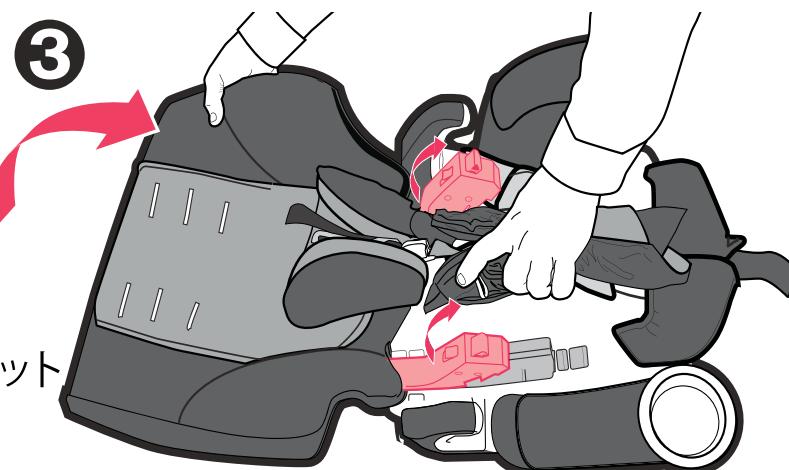
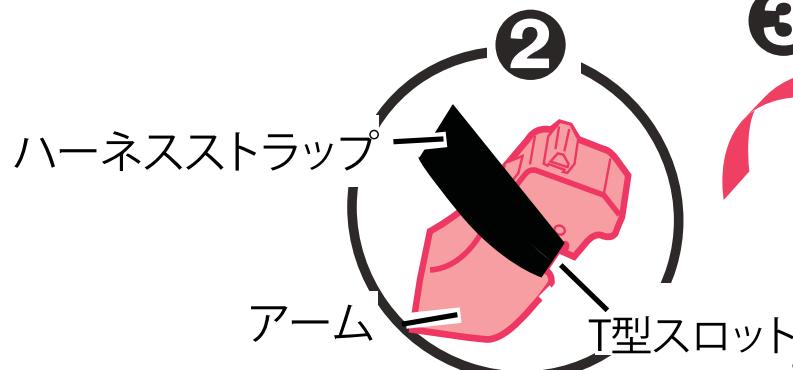
手や指、その他異物を溝に入れないように注意してください。

2. アーム近くのT型スロットに、ハーネスストラップが②のように確実に取り付けられていることを確認します。
もう一方の手でバックサポートを起こします。③

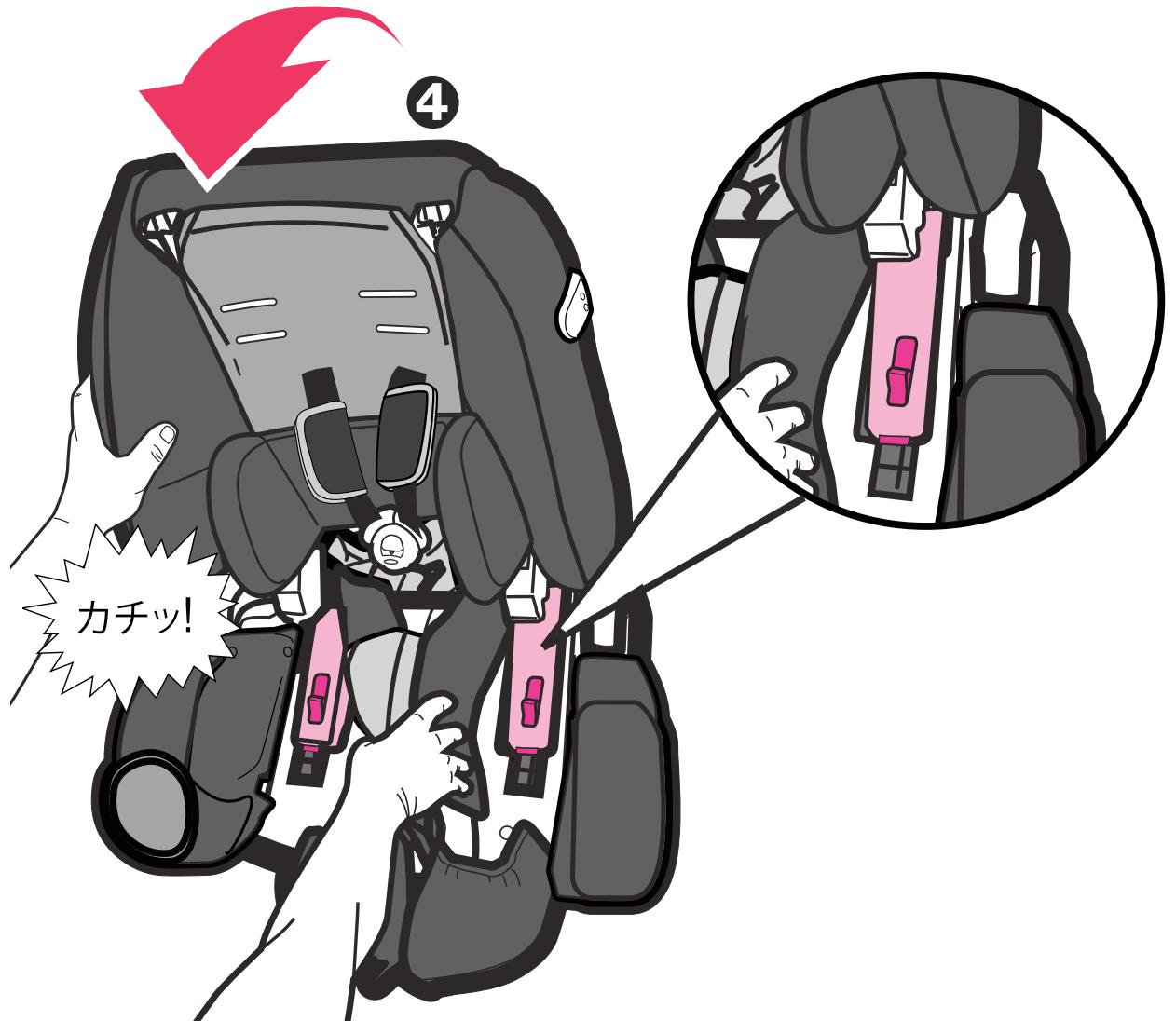
溝には何も入れない。①



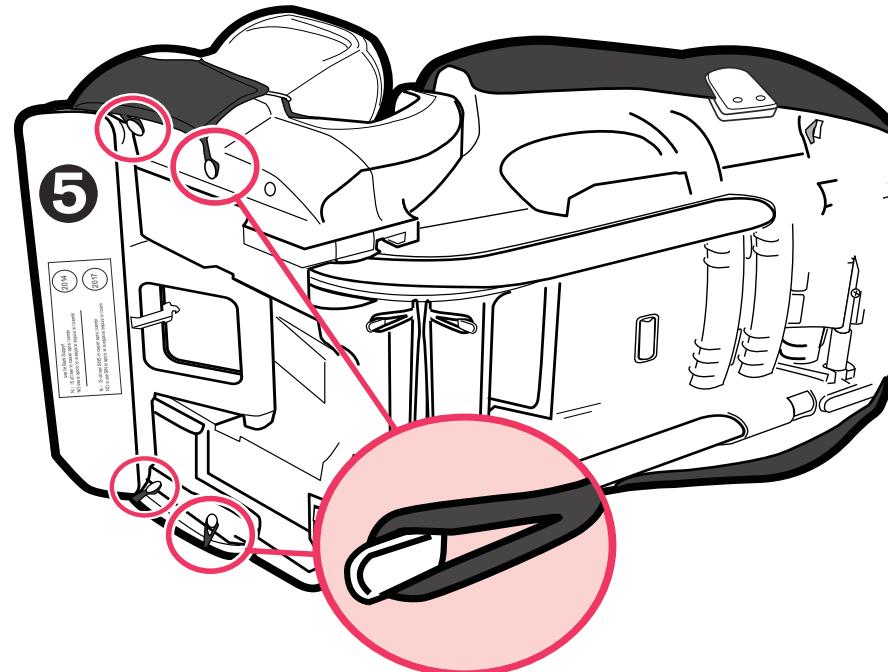
溝には何も入れない。



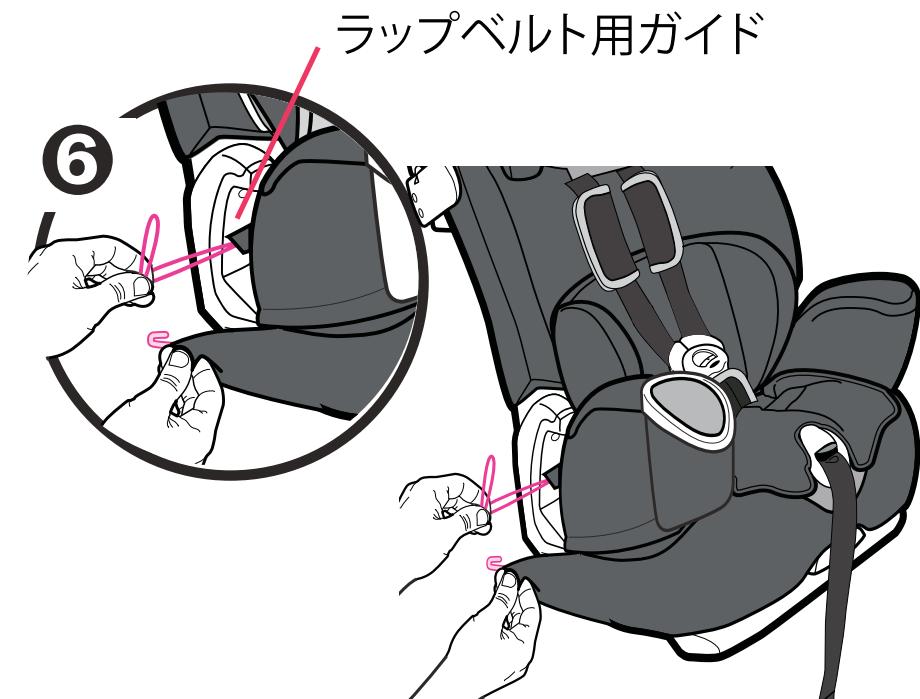
3. アームを溝に力チッとはめ込みます。
④のようにシートを組み立てます。アーム
が確実にロックされていることを確認しま
す。



4. ⑤のように、シートカバーにある4ヵ所のゴムループをシート下に取り付けます。



5. ⑥のように、シートカバー上のゴムループをラップベルト用ガイドに通して引っ張り戻す。反対側も同様にします。



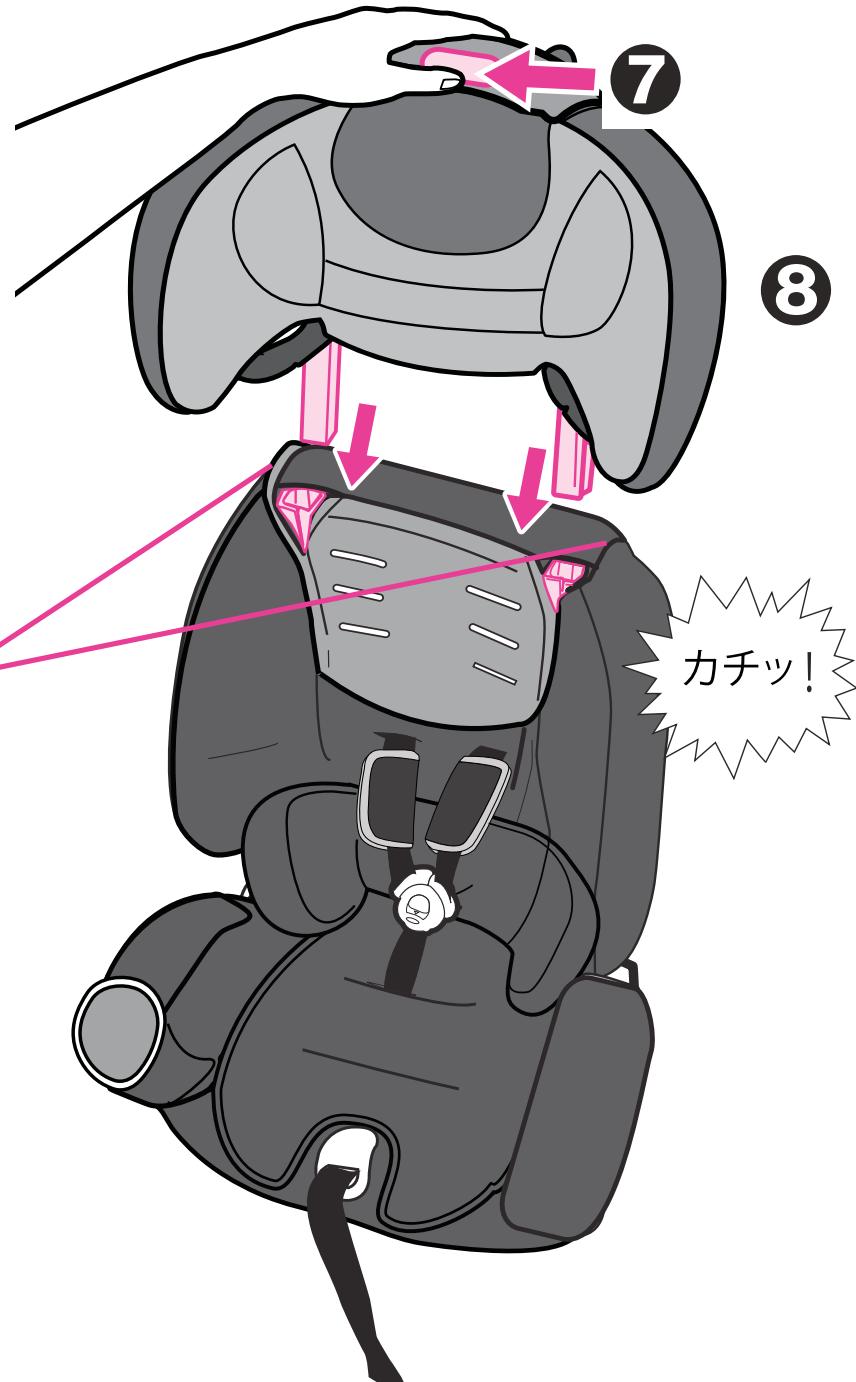
6. ⑦ の高さ調節ボタンを強く握り、⑧ 図のようにヘッドサポートをバックサポートのスロットにカチッとはめ込みます。

バックサポート最上部にある両側のフックとシートカバーの面ファスナーを緩めると、スロットの操作がしやすくなります。

ヘッドサポートなしでのご使用はおやめください。

ヘッドサポートは必ずお子様の体型に合わせて調節してください。

面ファスナー



7.これで組み立ては完了です。



ハーネストラップを使用する場合

お子様が以下の条件全てを満たす必要があります。

- ・体重: 9 kg から 18 kg まで
- ・一人でお座りができる。
- ・肩が最上部のハーネススロットより低い位置にある。

肩の位置が最上部より高い場合、お子様は大きすぎるためハーネストラップでのご使用はできません。



ハーネスストラップを使用しない場合

お子様が以下の条件全てを満たす必要があります。

- ・体重: 15 kg から 36 kg まで
- ・図のように、ショルダーベルトを必ず肩に交差させて、ラップベルトは骨盤より低い位置に通す。
- ・耳の位置がチャイルドシートの最上部より低い位置にある。
耳の位置がチャイルドシート最上部より高い場合、お子様は大きすぎるためチャイルドシートを使用できません。

上記の条件を満たしていても、肩が最上部のハーネススロットの位置より低く、体重が 18 kg までの場合にはできる限りハーネスストラップを使用されることを強くお勧めします。



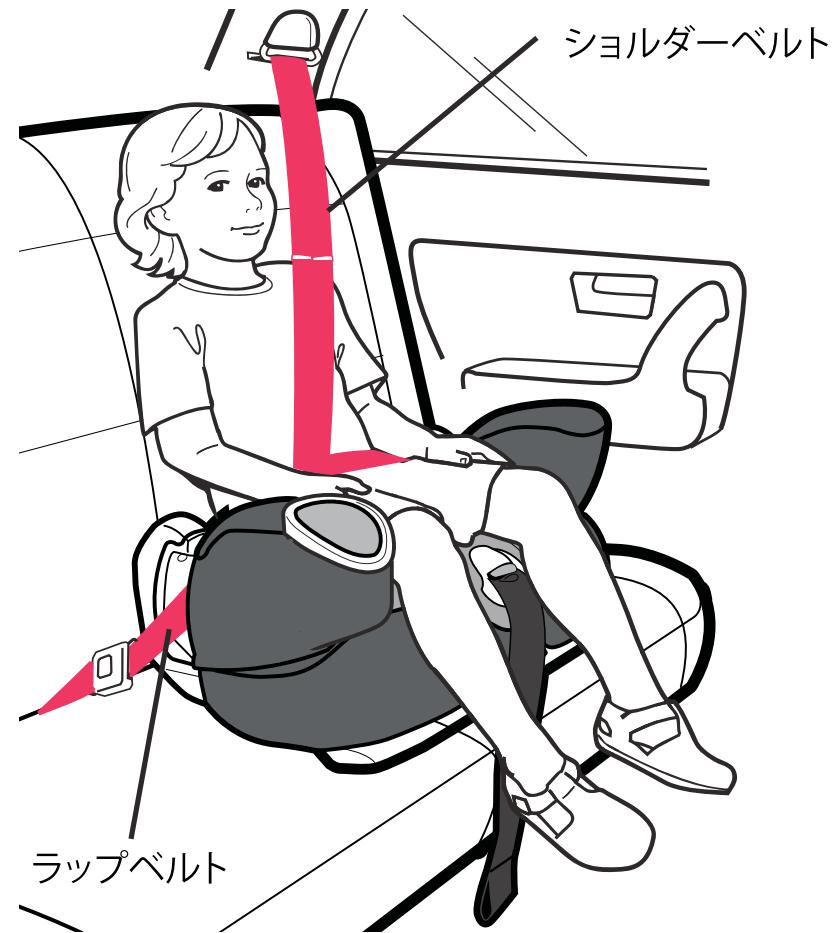
バックサポートを使用しない場合

お子様が以下の条件全てを満たす必要があります。

- ・体重: 22 kg から 36 kg まで
- ・図のように、ショルダーベルトを必ず肩に交差させて、ラップベルトは骨盤より低い位置に通す。

チャイルドシートに着席時、お子様の耳が車のシートクッション/ヘッドレストの最上部より低い位置にある必要があります。

本製品は、バックサポートあり / なしの使い方があります。必須条件を満たしていればどちらでもお使いいただけますが、なるべくバックサポートを使用することをおすすめします。

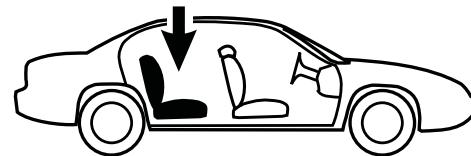


車内でのチャイルドシートの適切な取り付け位置

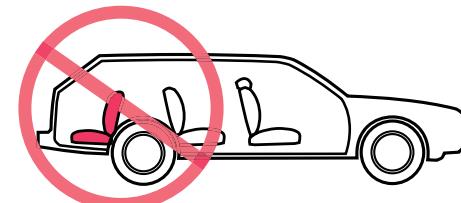
取り付け座席の必要条件

- ・後部座席で適切に固定をしていれば、お子様はより安全です。

このチャイルドシートはラップベルトのみの座席位置で使用することはできません。



- ・座席は前向きにしてください。



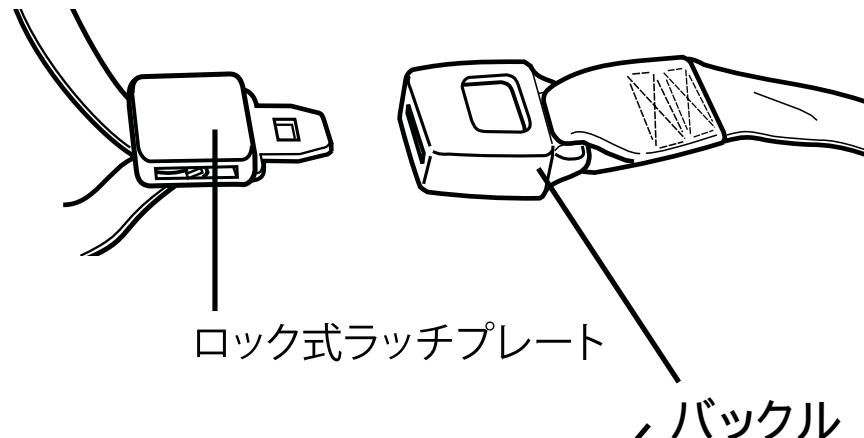
- ・チャイルドシートの前部が座席からはみ出さないように設置してください。



シートベルトのラッチプレートの種類

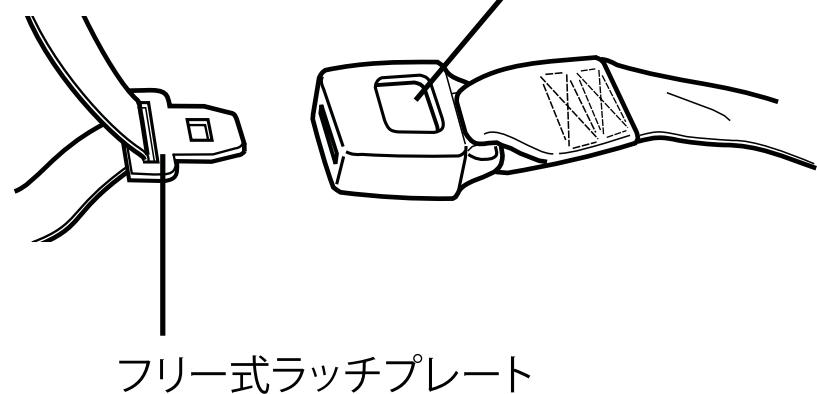
・ラップ/ショルダーベルトとロック式ラッチプレートの連結

このタイプのベルトは、一度締めるとラッチプレートによってベルトの腰部分がゆるみません。



・ラップ/ショルダーベルトとフリー式ラッチプレートの連結

このベルトにはベルト上を自由にスライドできるラッチプレートが付いています。

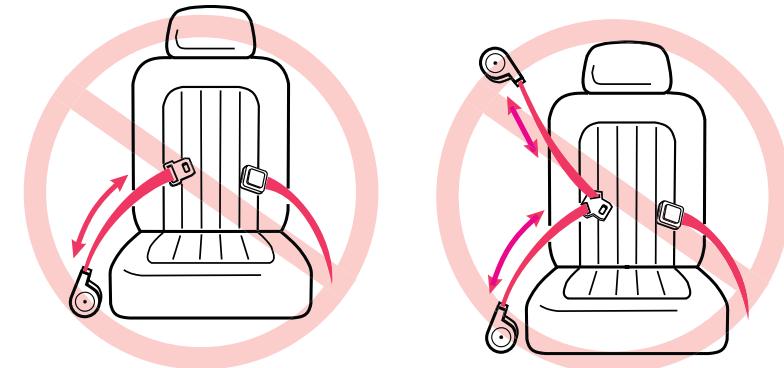


ご使用できない車のシートベルト

以下のシートベルトが装備された座席ではご使用できません。

- ・ラップベルトに緊急ロック式巻き取り装置(ELR式※)が装備されている座席ではご使用できません。

(※ラップベルトをゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックするタイプ。)

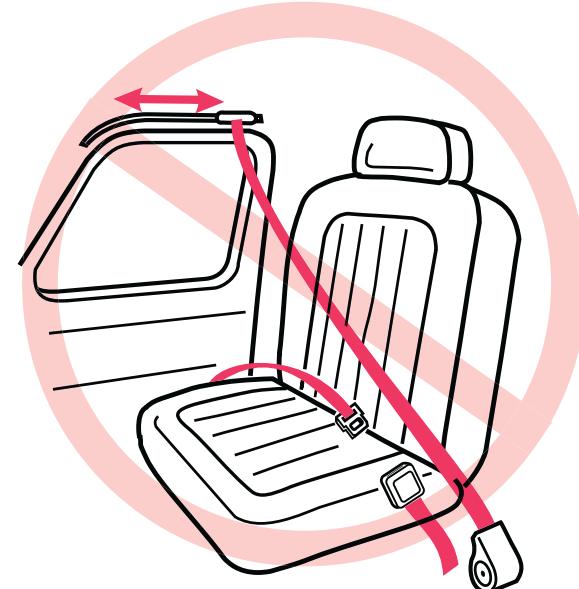


- ・ラップまたはショルダーベルトがドアに取り付けられた座席ではご使用できません。

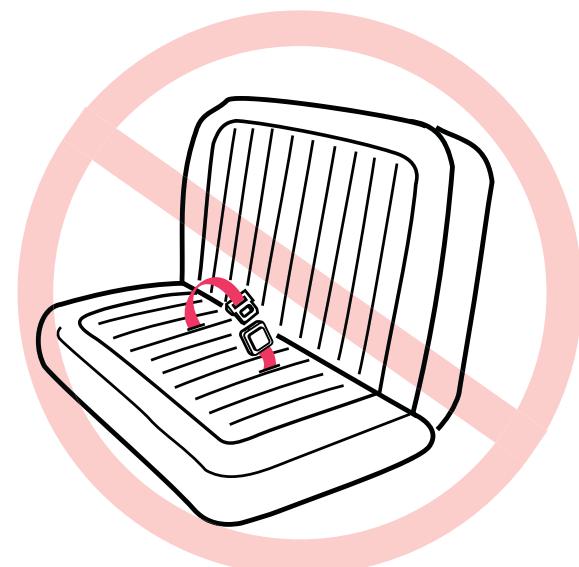


- ・パッシブシートベルト※：自動式ショルダーベルトが装備されている座席ではご使用できません

（※パッシブシートベルトとはドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のことです。）

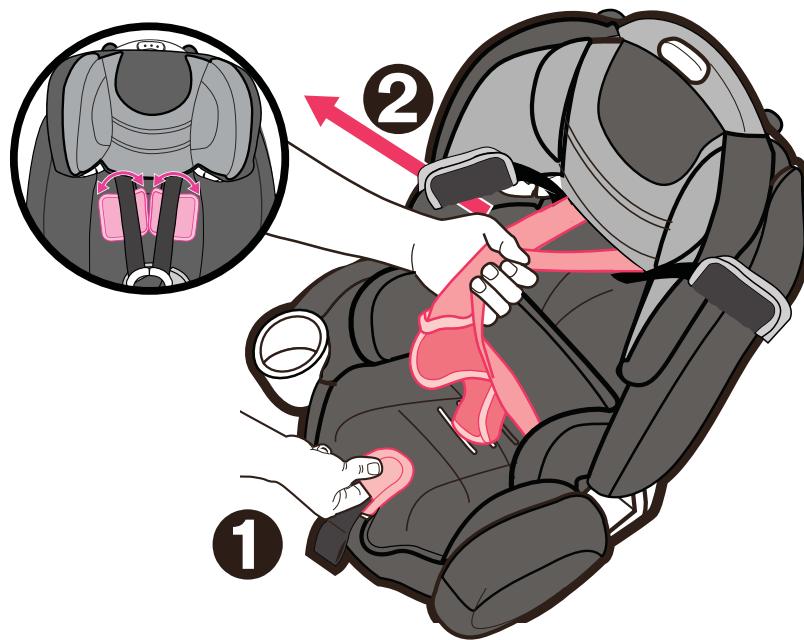


- ・ラップベルトのみのシートベルト

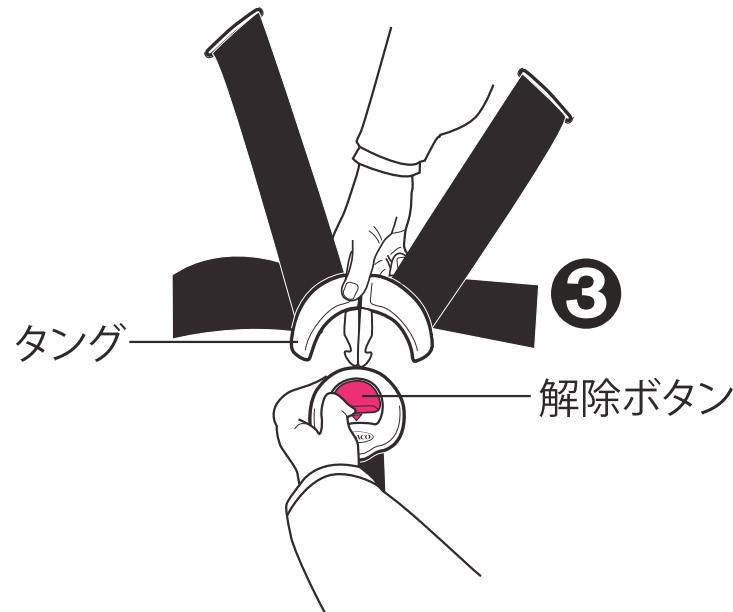


ハーネスストラップを使用する場合

1. 左右のハーネスカバーを開き、ハーネス調節ベルト近くのシート前方にあるハーネス調節レバー①を持ちあげ、自分に向けて②の方向にハーネスストラップを引いてゆるめます。



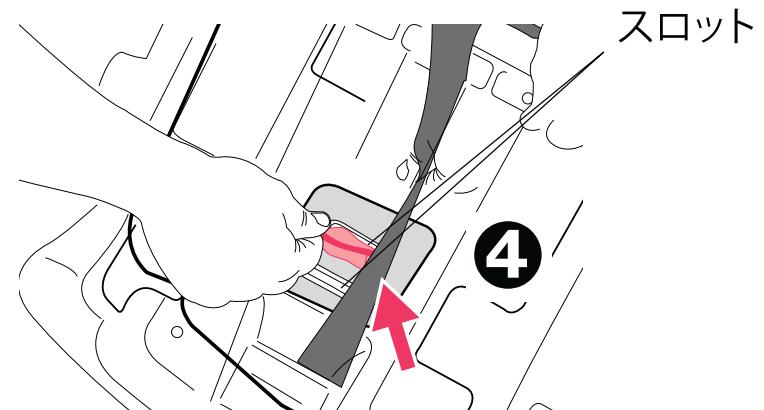
2. ハーネスバックルの解除ボタンを強く押し下げ、タング③を外します。



3. クロッチストラップの確認:お子様の体格にあわせてクロッチストラップの位置を2段階に変更できます。お子様の下にならず、なるべくお子様の間に隙間がない位置を選びます。

クロッチストラップの位置を変更するには、チャイルドシート底部からクロッチリティナーをスロット④に通して押し上げ、⑤のように上部から引き出します。

希望の位置に合わせクロッチリティナーを再度差し込みます。スロットに差し込んだ際、クロッチストラップにねじれがないことを確認します。クロッチストラップを引き上げてクロッチリティナーで確実に固定されていることを確かめます。

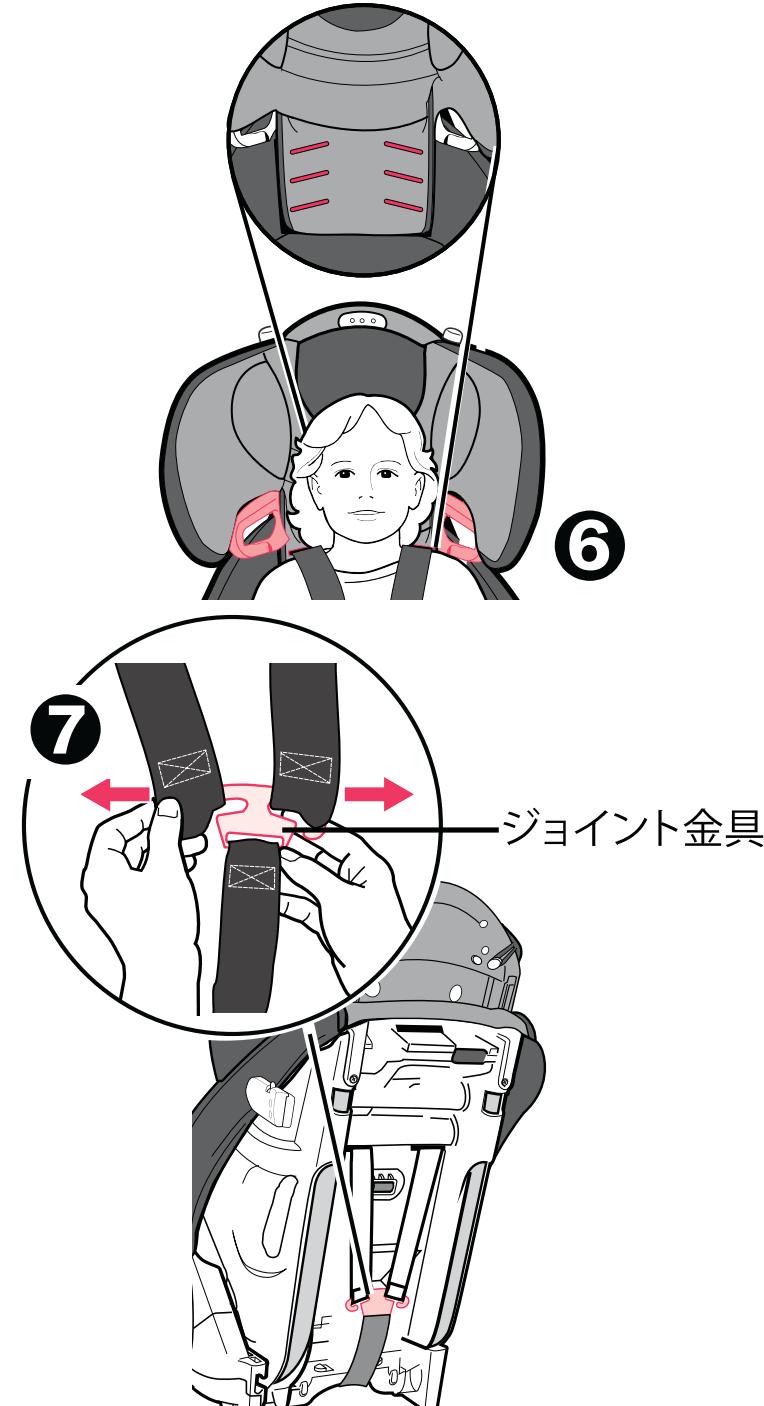


4. ハーネスストラップは、お子様の肩から少し上のスロットに差し込まれている必要があります ⑥

ストラップが適切にスロットに差し込まれている場合は26ページに進んでください。

5. ハーネスストラップの調節方法

- シートを回して後側を正面に向けます。
- シート後側のジョイント金具からストラップを取り外します ⑦。



6. ハーネスカバーを開きます。⑧

ハーネスストラップを正面側に引き抜きます。

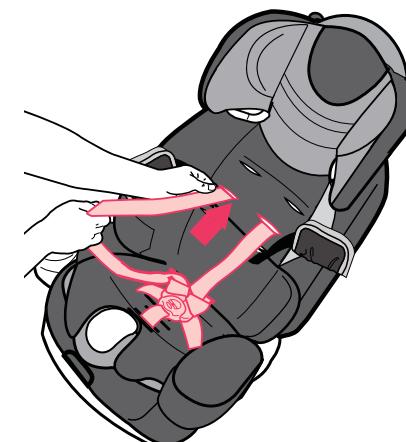
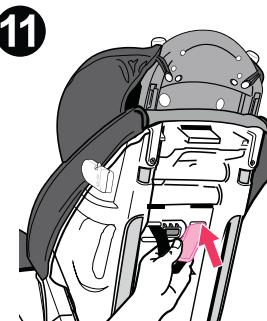
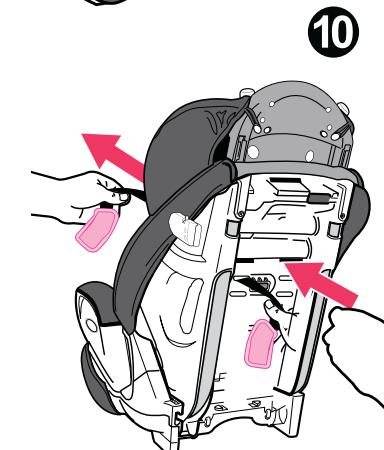
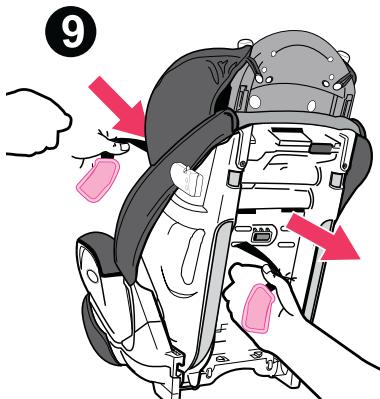
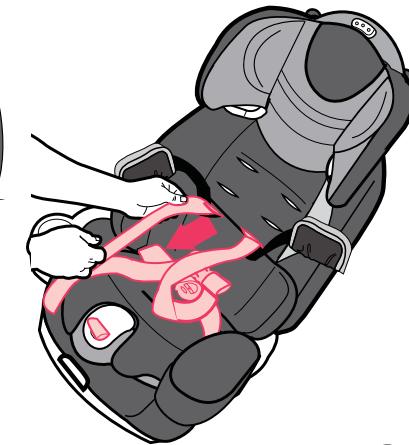
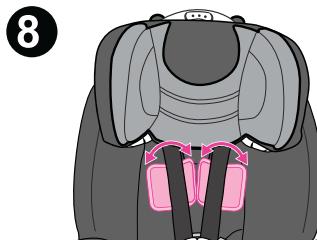
ハーネスカバーを背面側に引き抜きます。⑨

お子様の肩から少し上のスロットにハーネスカバーを背面から再度差し込みます。⑩

ハーネスストラップを差し込みます。⑪

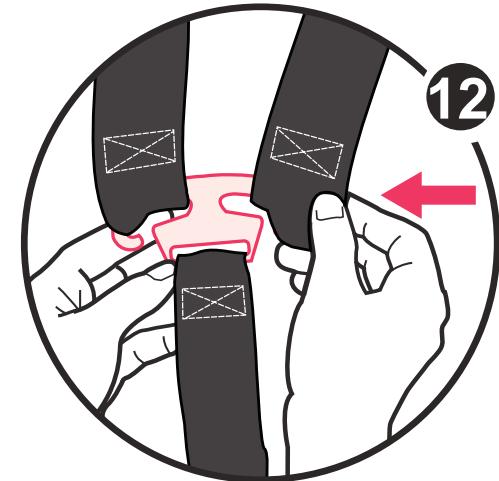
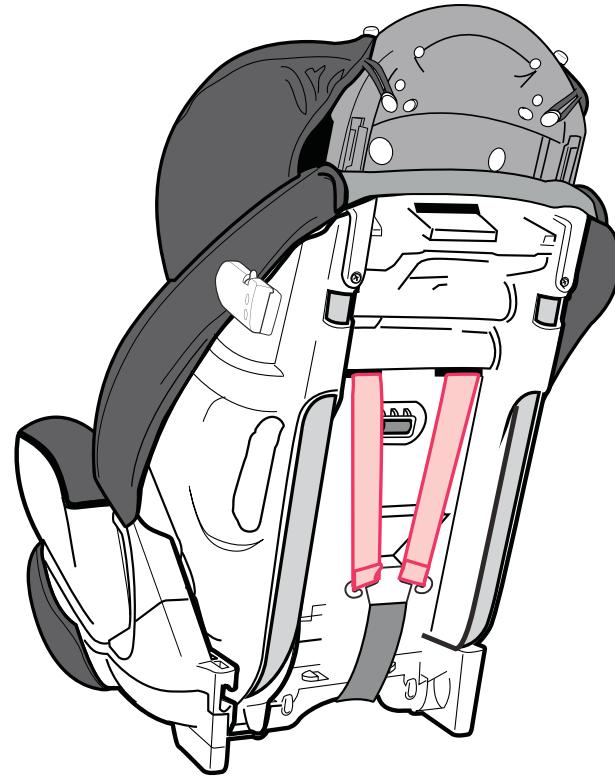
それからハーネスカバーを被せて閉じます。ストラップにねじれがないことを確認します。

同じ高さのスロットにシート両側のハーネスストラップが差し込まれていることを確認してください。



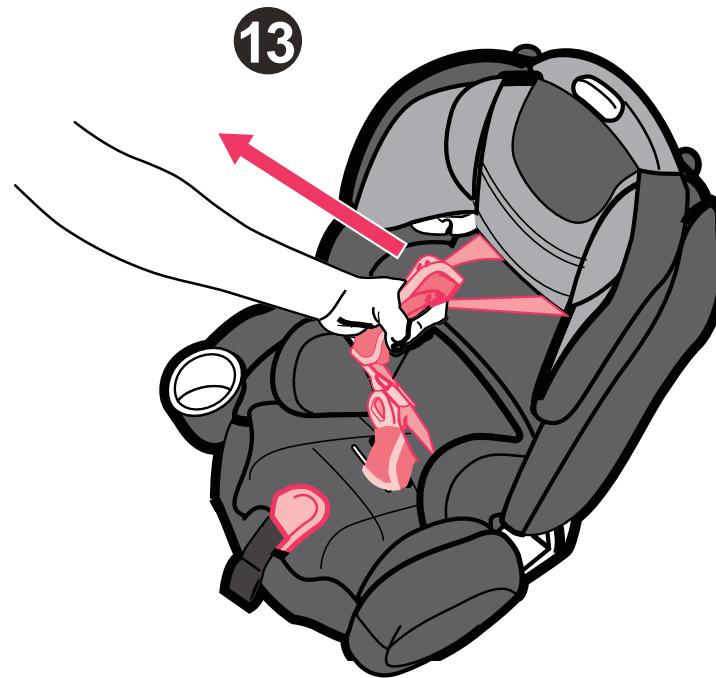
7. ⑫のようにジョイント金具にストラップを再度取りつけます。

ストラップが確実にスロットに差し込まれ、ねじれがないことを確認します。



8. ストラップが同じ高さに差し込まれていることを確認します。ハーネスを引いてしっかりと固定されていることを確認してください ⑬。

お子様の成長に合わせてハーネストラップとクロッチストラップの位置が適切に調節されているか必ず確認する。ハーネストラップは、肩の少し上のスロットに差し込まれているように、位置を変更してください。



チャイルドシートの取り付け方

車のラップ/ショルダーベルトを使用する

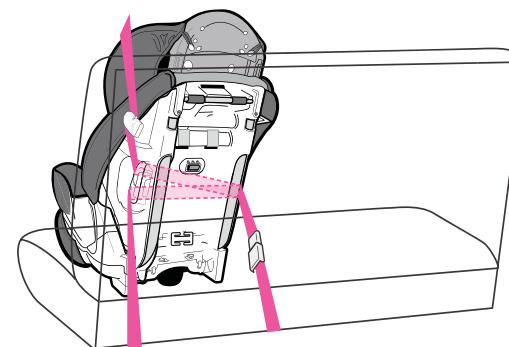
1. チャイルドシートを前向きの座席の背に押し当てます。

車のヘッドレストによって座席とチャイルドシートの間に空間ができるないようにしてください ①。チャイルドシートの前部が座席からはみ出さないようにしてください ②。

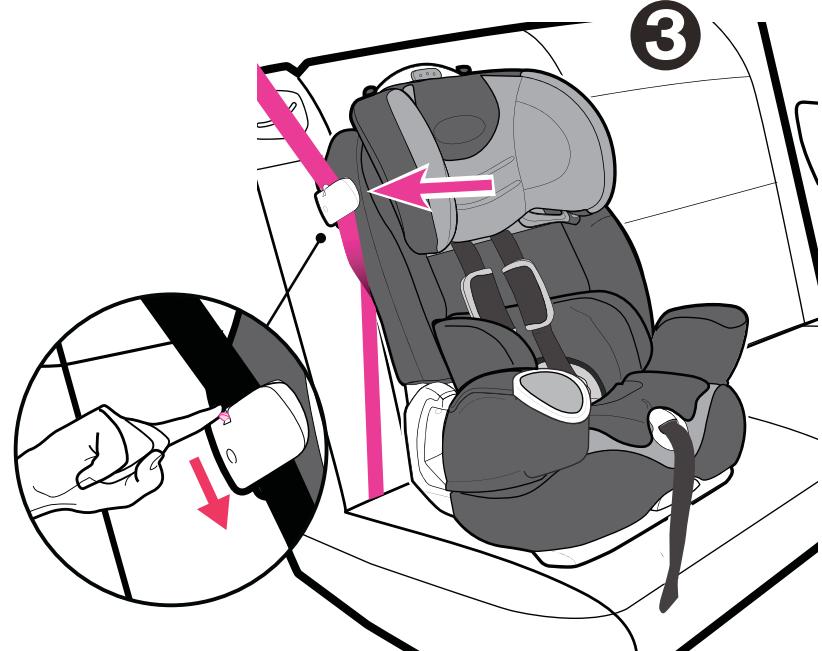


2. シートベルトをシートベルトガイドの開口部に通します。

3. バックルにラッチプレートを差込みます。(P 18を参照してください)シートベルトにねじれがないようにします。



4. シートベルトをチャイルドシートの側面にあるロックオフデバイスのリリースボタンを押し下げながら差し込みます③。



5. シートベルトベルトを締めます。
チャイルドシートの中央部分を膝または手で強く
押し下げます④。そしてシートベルトを引いて
締めます。シートベルトがゆるまないことを確認
してください。

**チャイルドシートをより安全でしっかりと取り付け
るには、17ページの「車内でのチャイルドシート
の適切な取り付け位置」または車の使用説明書
をご参照のうえ、適切な座席に取り付けてください。**

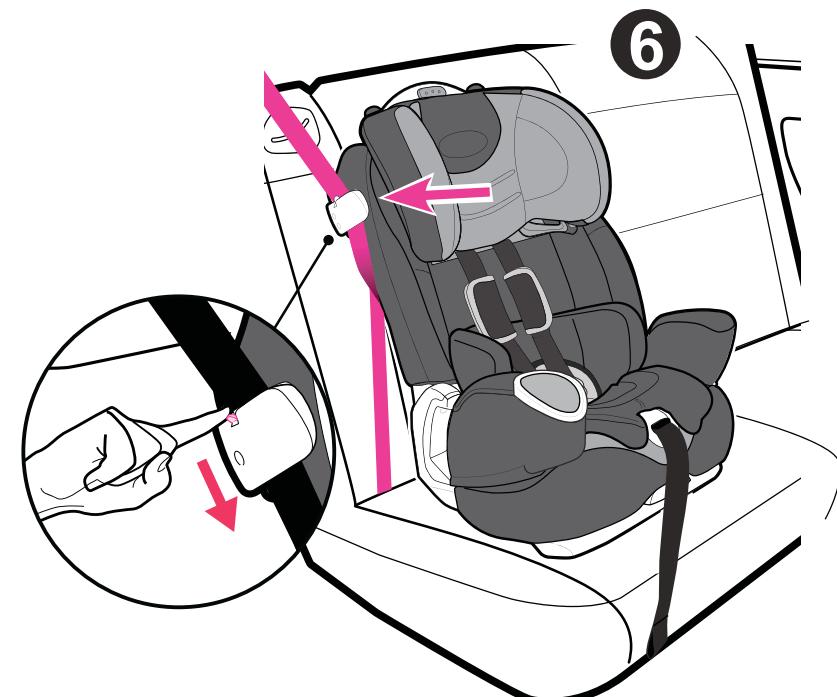


6. 下記のように取り付け完了チェックを行ってください。

チャイルドシートをご使用の際は必ずこのチェックを行ってください。

チャイルドシートを前方および左右方向へゆすりながら引っぱり、シートベルトにたるみが無いか確認してください。またチャイルドシートが簡単に動かないかを確認します⑤。チャイルドシートがガタガタしている、あるいはしっかりと固定されていない場合は取り付けをやり直して下さい。それでもしっかりと固定できない場合は17ページの「車内でのチャイルドシートの適切な取り付け位置」を参照の上、別の座席にチャイルドシートを設置してください。

7. ロックオフデバイスからシートベルトを外すには、リリースボタンを押し下げシートベルトを外します⑥。



お子様の座らせ方

・お子様をチャイルドシートに乗せる際はできるだけハーネスストラップがぴったりとなるよう調節してください。

・厚手の服装はできるだけ避けてください。

1. 座席の背に対して背中が平らになるようにしてお子様をチャイルドシートに乗せます。

2. お子様の肩のハーネスストラップを載せて、左右のタングを揃えカチッと音がするまでタングをハーネスバックルに差し込みます①。

ストラップにねじれがないことを確認します。

ハーネスストラップを引いてハーネスバックルにしっかりとタングが差し込まれロックされていることを確認します。

タングがロックされない場合はチャイルドシートを使用しないでください。



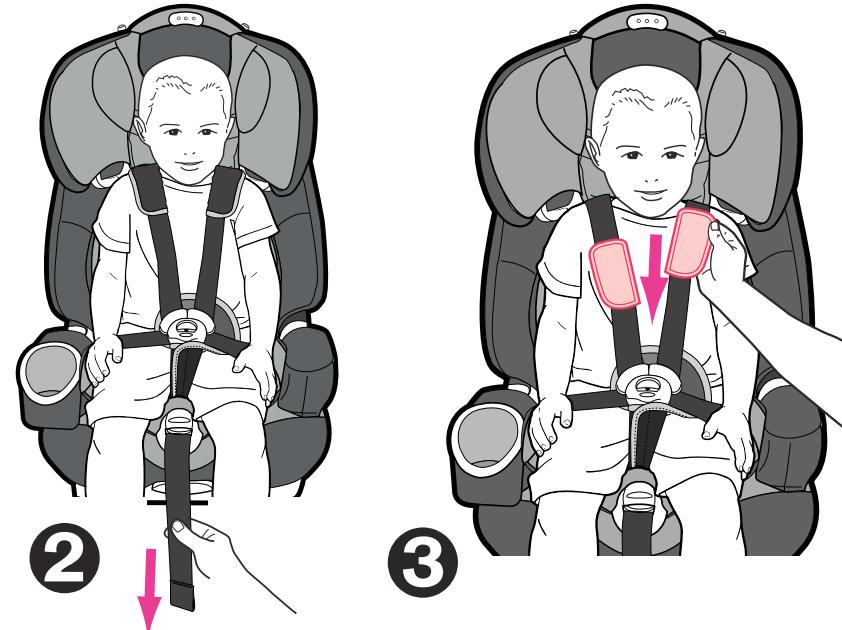
3. シート前面にあるハーネス調節ベルトを引いてハーネスストラップを締めます②。

4. ③のようにハーネスカバーがお子様の胸あたりにくるように調節してください。ハーネスカバーがスロットに詰まつたりしないようにご注意ください。

ハーネスカバーには表と裏側があります。必ずラバーが付着されている側をお子様の胸に向くようにしてください。

5. ハーネスストラップがまっすぐでお子様の肩や太ももにぴったりと装着されていることを確認します。

④のようにハーネスストラップをつまむことができないようにします。ハーネスストラップがぴったりとしているとしたるみはできません。ハーネスストラップはたるみなく、ほぼまっすぐに装着するようにします。ストラップによってお子様の体が圧迫されたり、体が不自然な姿勢にならないようにします。

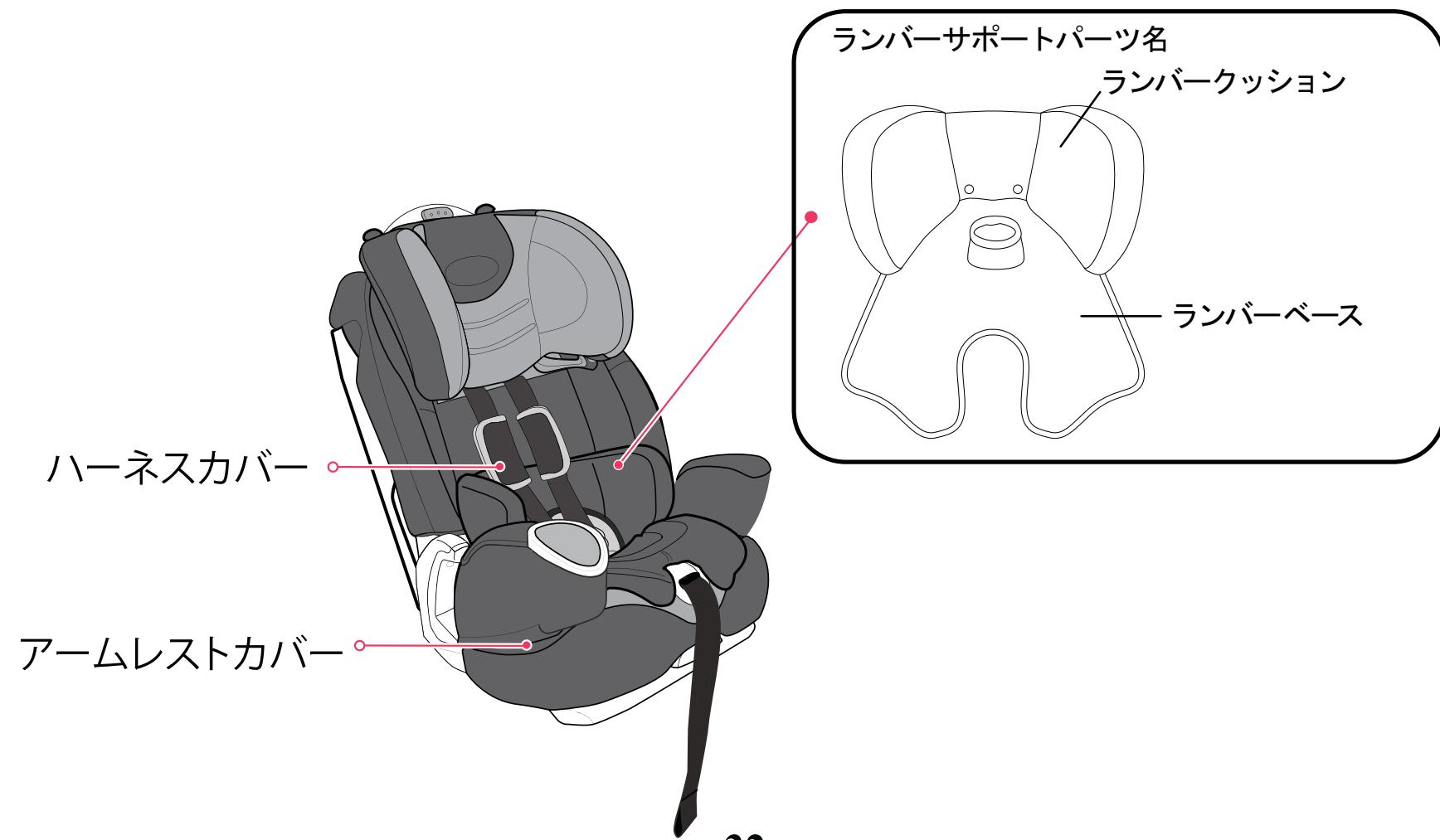


6. ランバーサポート

使用期間: G1(ハーネスストラップ着用時のみ)

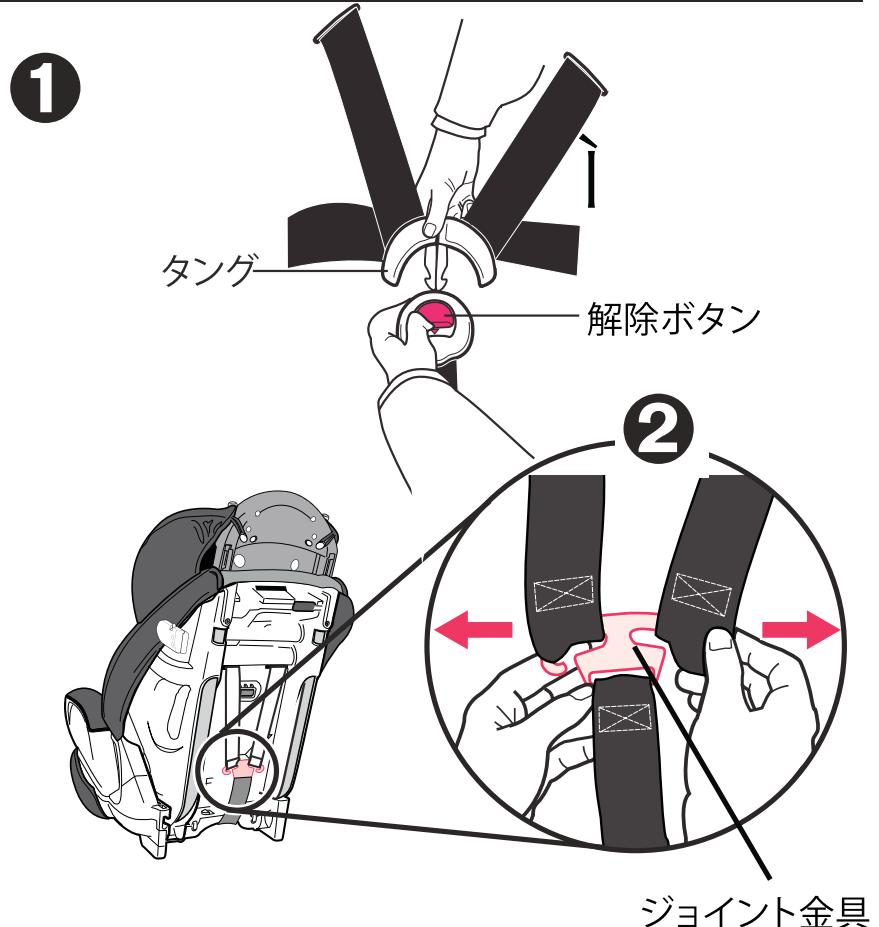
取り外し方: バックルを外し、ランバーサポートごと引き上げる。

アドバイス: お子様が大きくなられて、窮屈と感じた場合はランバークッションを取り外して下さい。



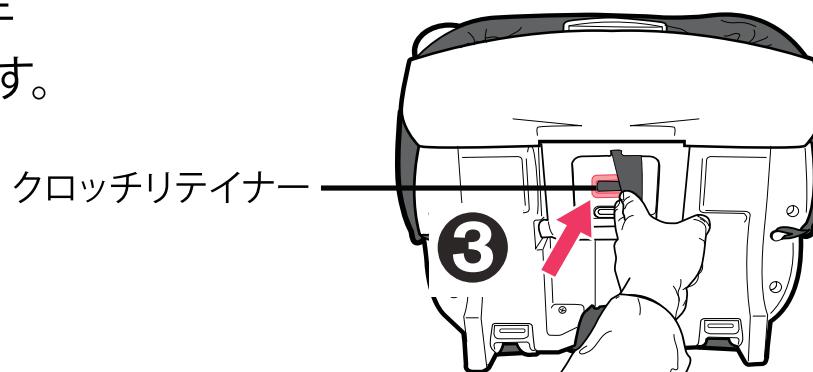
ハーネスストラップの取り外し方

1. ハーネスバックルの解除ボタンを強く押し下げ、ハーネスストラップを外します①。

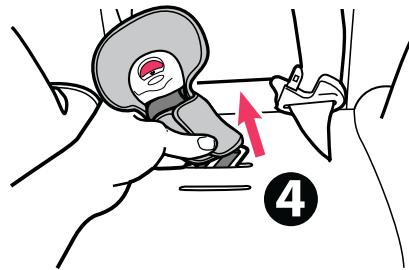


2. シートを後側に向け、ジョイント金具からストラップを取り外します②。

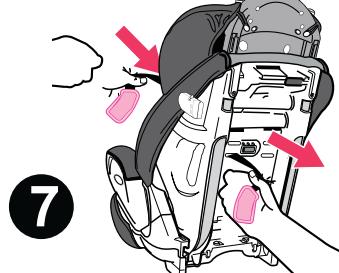
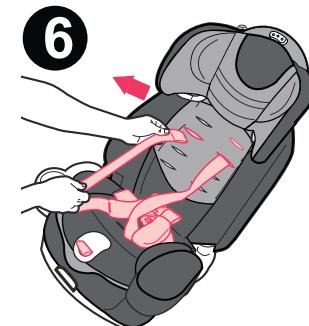
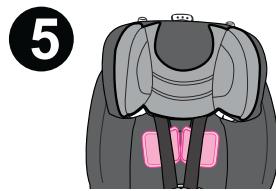
3. チャイルドシート底部からクロッヂリティナーをスロット③に通して押し上げます。



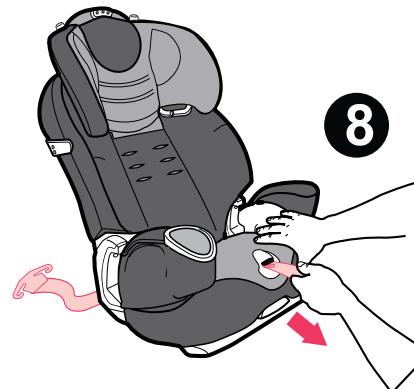
4. クロッチストラップカバーと共にクロッチストラップを完全に引き出します④。



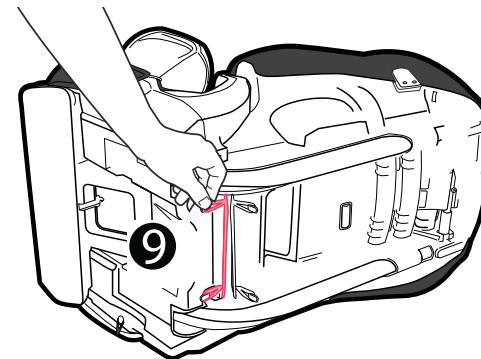
5. ハーネスカバーを開きます⑤。
ハーネスストラップを正面側に引き抜きます⑥。
ハーネスカバーを背面側に引き抜きます⑦。



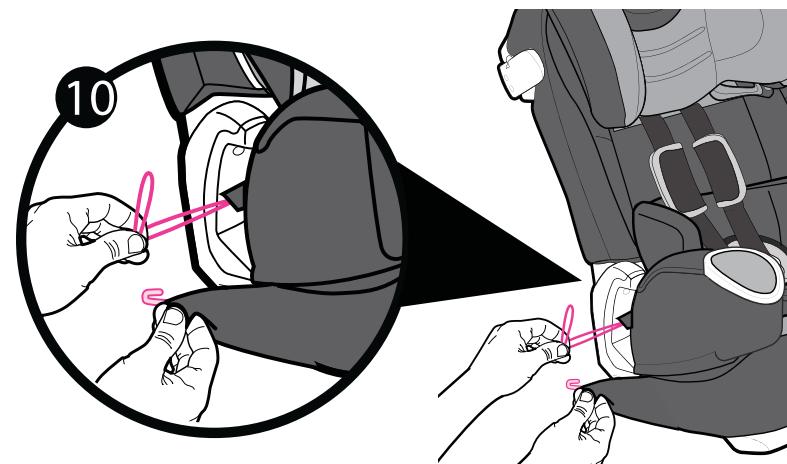
6. シート前部のハーネス調節ベルト⑧を引き、ジョイント金具を固定します。



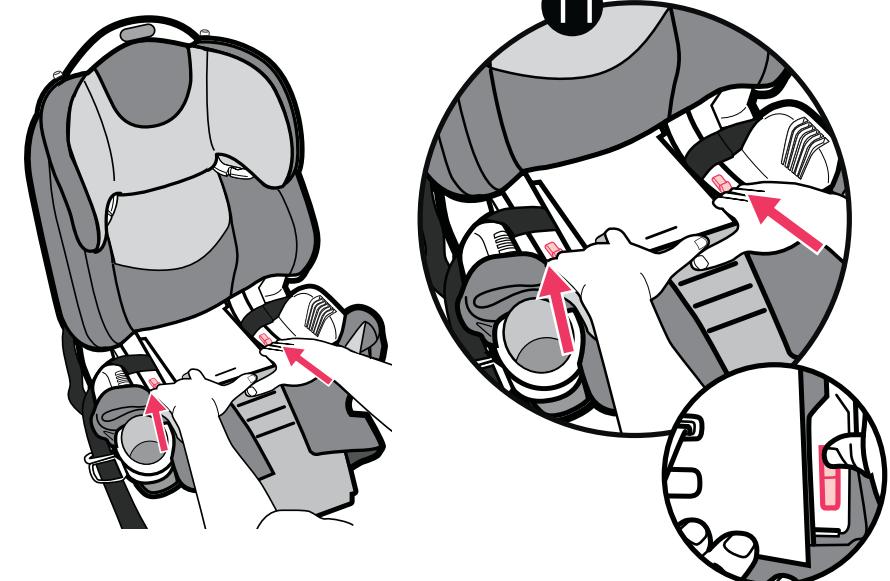
7. シートの後側を向け、⑨のようにフックからシートパッド下部の2ヶ所のゴムループを外します。



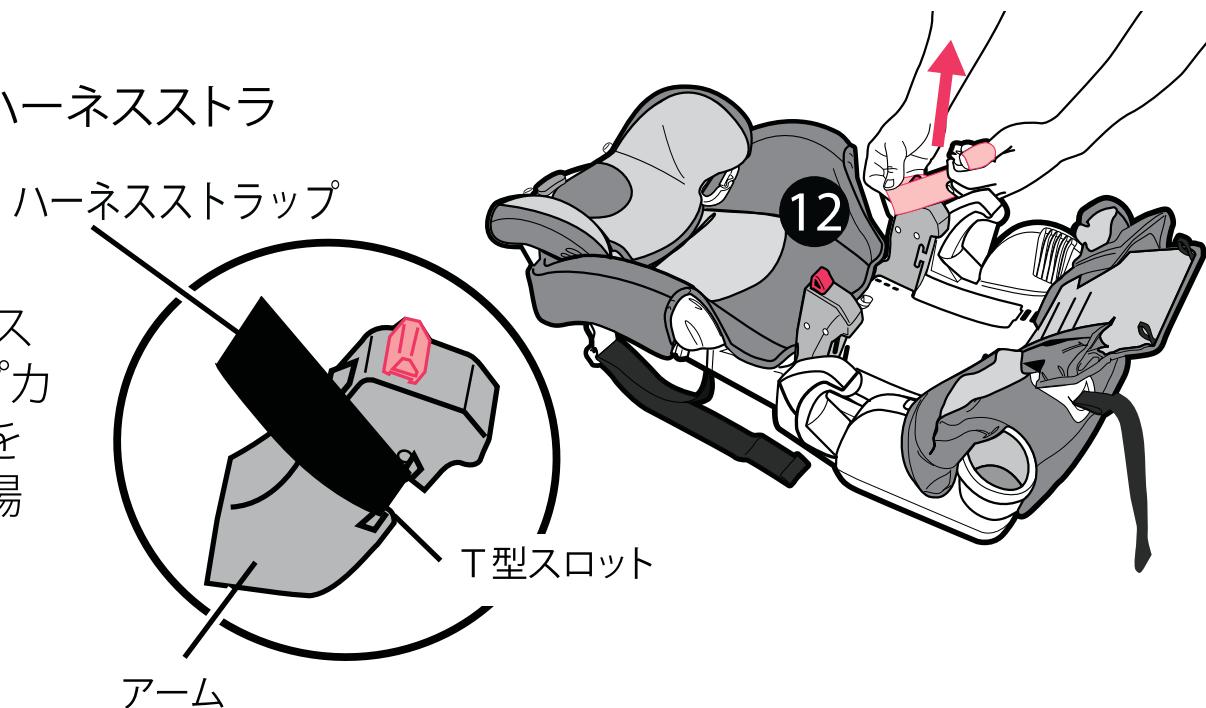
8. ⑩のようにシート両側の車のシートベルト用ガイドに通したゴムループを外します。反対側も同様にします。



9. シートカバーを引き出して、シート部分にある赤のロックボタンを出します⑪。ボタンをバックサポート側にスライドさせて本体を後方に倒します。このときバックサポートが落下したり、何かに当たったりしないように注意してください。後方に倒す際、手や指、その他をバックサポートの後側に置かないようにします。

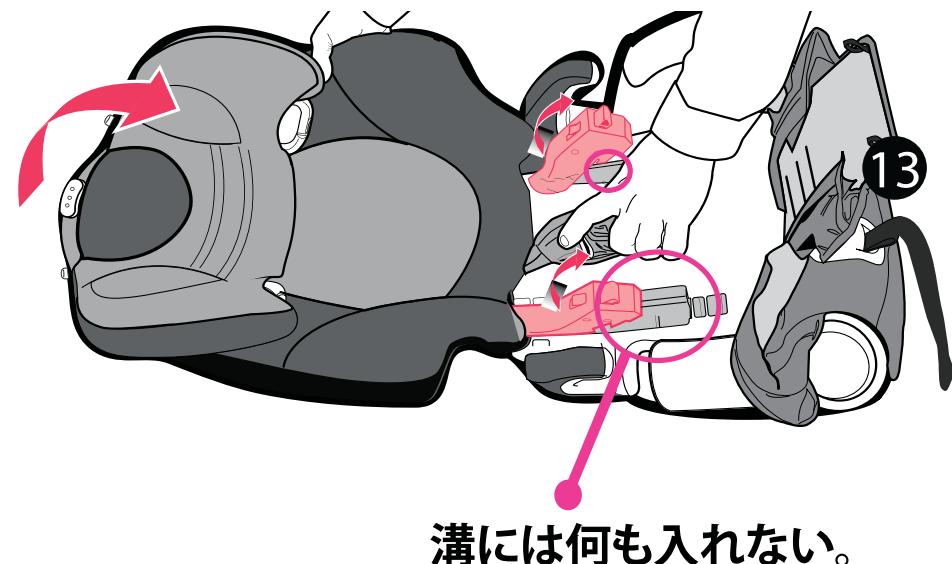


10. ⑬のようにアームからハーネスストラップを外します。

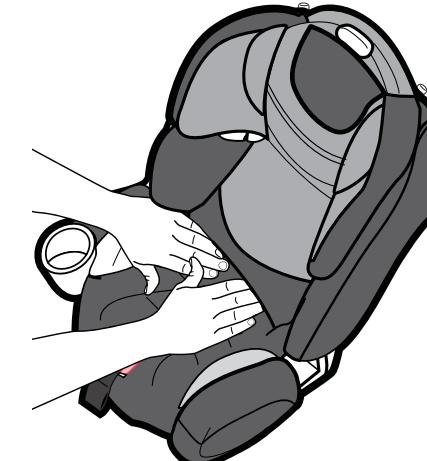


ランバーサポート、ハーネスカバー、クロッチストラップカバー、ハーネスストラップを次回使用するまで安全な場所に保管します。

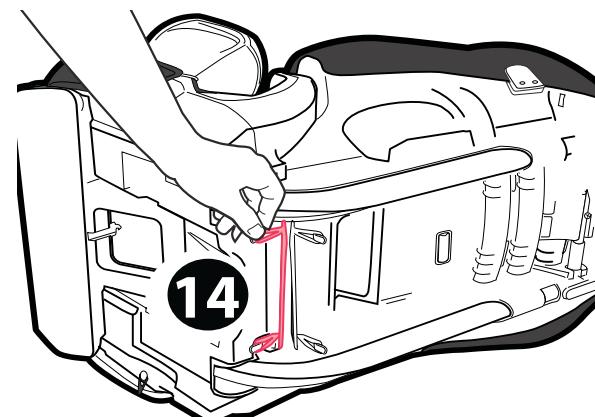
11. バックサポートを起こします⑭。
アームが溝に固定されるとカチッという音が聞こえます。
手や指、その他異物を溝に入れないように注意してください。



12. チャイルドシートのバックサポートとシート部分の隙間にシートカバーを押しこみ、バックサポート背面から2ヶ所のゴムループが見えるようにします。

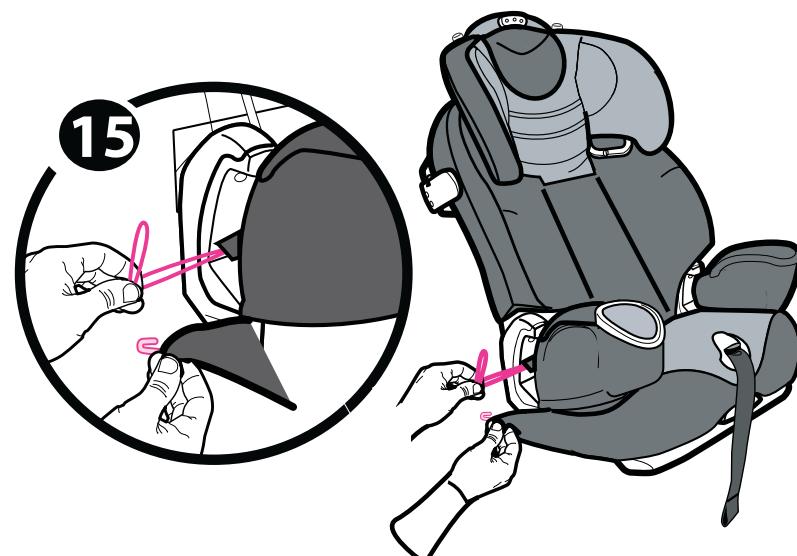


13. ⑭のように、2ヶ所のシートカバーのゴムループをチャイルドシートの座面後部にあるフックにかけます。



14. ⑮のように、シートカバー上のゴムループをラップベルト用ガイドに通して引っぱりフックにかけます。反対側も同様にします。

シートの設置準備は完了です。ハーネスマストラップを再度付ける場合は、上記と逆の方法で行います。ハーネスマストラップの高さ調節方法は23~26ページを参照してください。

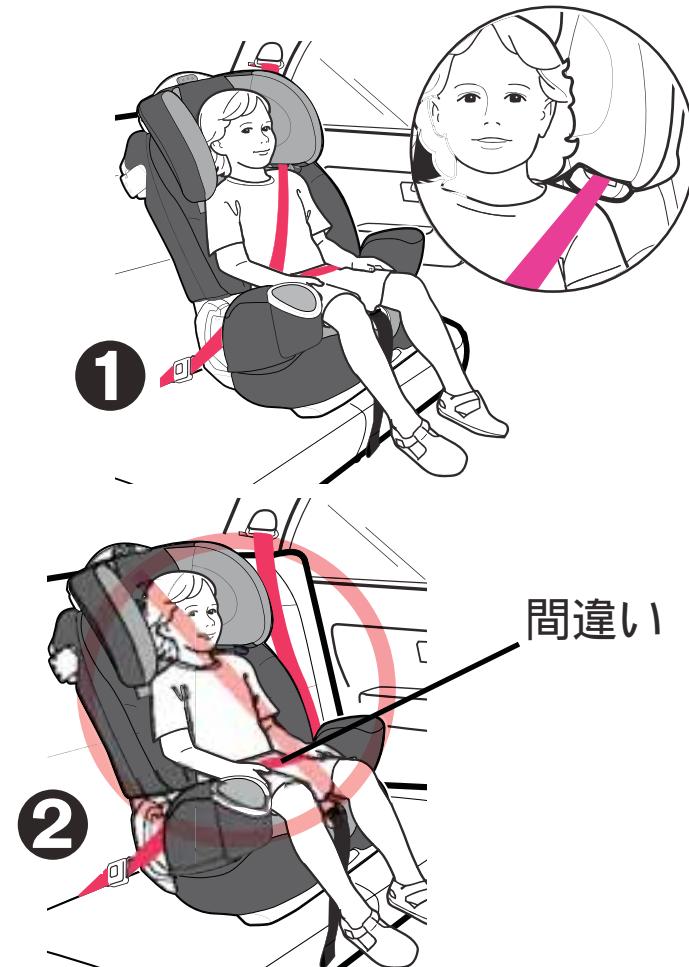


ハーネスストラップを使用しない場合

警告:ハーネスストラップなしでお子様を拘束する場合は、車のシートベルトを使用してください①。

車のシートベルトは**必ず**お子様に対して均一に当たるようにし、ねじれのないことを**確認**してください。

②のようにラップベルトのみで**使用しない**でください。



ショルダーベルトをゆるめたり、わきの下から装着したりしないでください ③。



ショルダーベルトがお子様の背中側に位置しないようにしてください ④。

ラップベルトは腰部分の必ず骨盤の位置にぴったりと装着してください。

チャイルドシート内でお子様が滑り落ちないようにしてください ⑤。

お子様が適切な位置で車のベルトを使用できない場合、このチャイルドシートを使用しないでください。

シートベルトがアームレストの上に位置しないようにしてください ⑥。



車のヘッドレストによって座席とチャイルドシート間に空間ができないようにしてください⑦。チャイルドシートの前部が座席からはみ出さないようにしてください⑧。



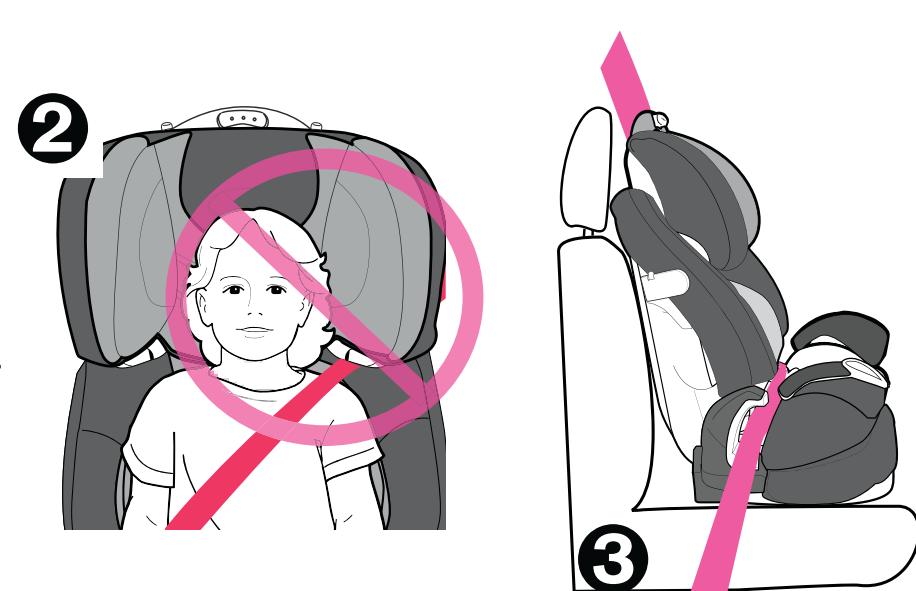
7 間違い



8 間違い

お子様の座らせ方およびチャイルドシートの取り付け方

1. チャイルドシートを3点式シートベルトが装着された前向きの座席の背にしっかりと押し当ててください。
2. お子様とチャイルドシートの間になるべく隙間ができるないように、深く座らせます。
3. シートベルトをショルダーベルト用ガイドに通します①。ショルダーベルト用ガイドの下を通らないようにしてください②。ラップベルトは必ずラップベルト用ガイドを通るようにします③。ショルダーベルトを引き上げたるみをとります。
4. ショルダーベルトがお子様の首、頭、顔にかかる場合は、ヘッドサポートの高さを調節してショルダーベルトを適切な位置にします。ヘッドサポートの調節は42ページを参照してください。
5. ショルダーベルトが肩にかかる適切な位置にあり、ぴったりと装着していることを確認してください。
シートベルトによってお子様の体が圧迫されたり、体が不自然な姿勢にならないようにします。



ヘッドサポートの調節

ヘッドサポートの高さを調節する場合

ヘッドサポートの高さを調節する前に、前方へ少しお子様を移動させます。

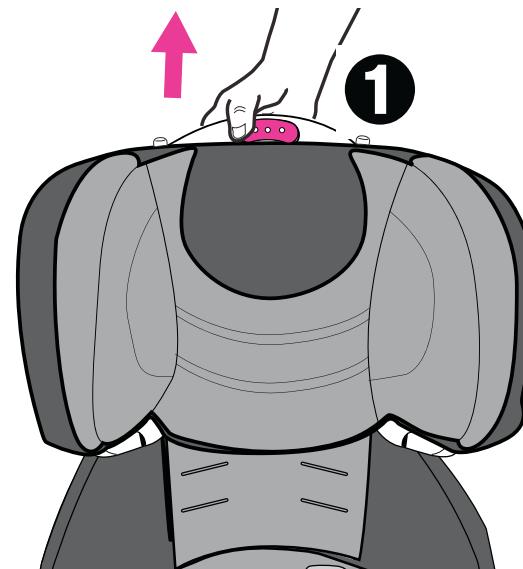
高くする場合

シート上部の赤い高さ調節ボタン①を強く握りヘッドサポートを引き上げます。5段階の適切な位置にしっかりと固定されていることを確認してください。

低くする場合

赤の高さ調節ボタンを強く握りヘッドサポートを押し下げます。5段階の適切な位置にしっかりと固定されていることを確認してください。

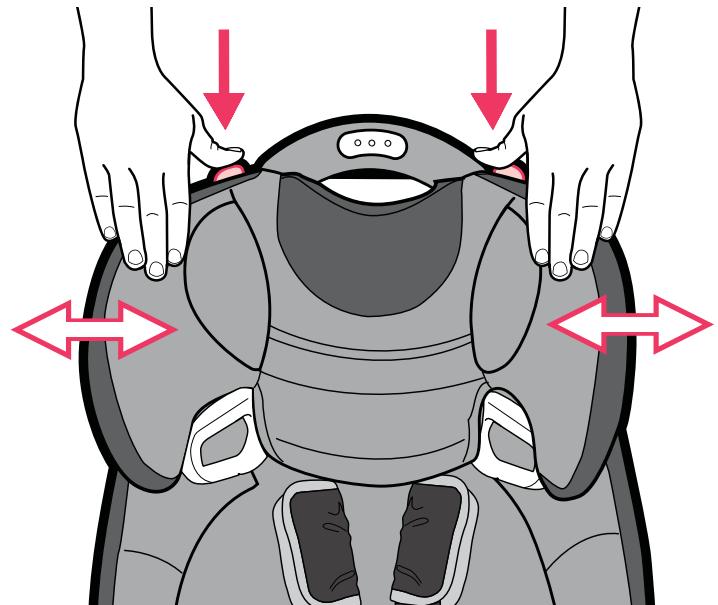
ショルダーベルト用ガイドは、肩の少し上、②の点線の高さになるようにしてください。



ヘッドサポートの調節

横幅を調節する場合

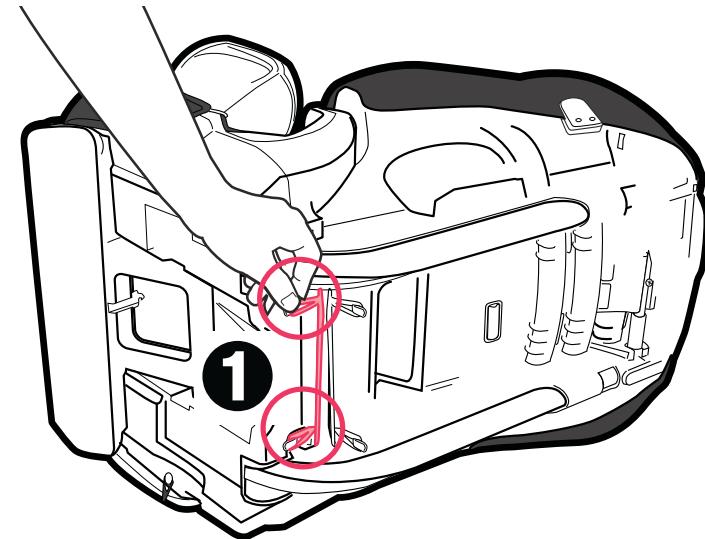
お子様が眠り、頭が左右に大きく傾く場合は幅を狭くしてご使用ください。(首への負担が軽減されます)。ヘッドラストを調節するには、図のように、シート上部左右のボタンを押し下げながら、ヘッドラストのサイドパネルを調節します。



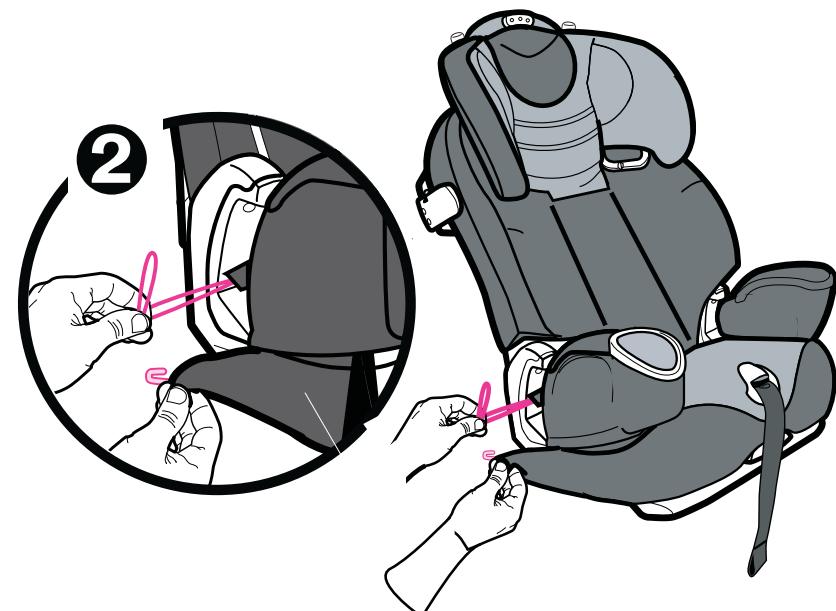
バックサポートなしでご使用の場合

バックサポートなしでチャイルドシートを使用する場合、ハーネスストラップが取り付いた状態から直接バックサポートを外してご使用になる場合は33~34ページをご参照になり、ハーネスストラップなど不要な部品を取り外してからご使用ください。

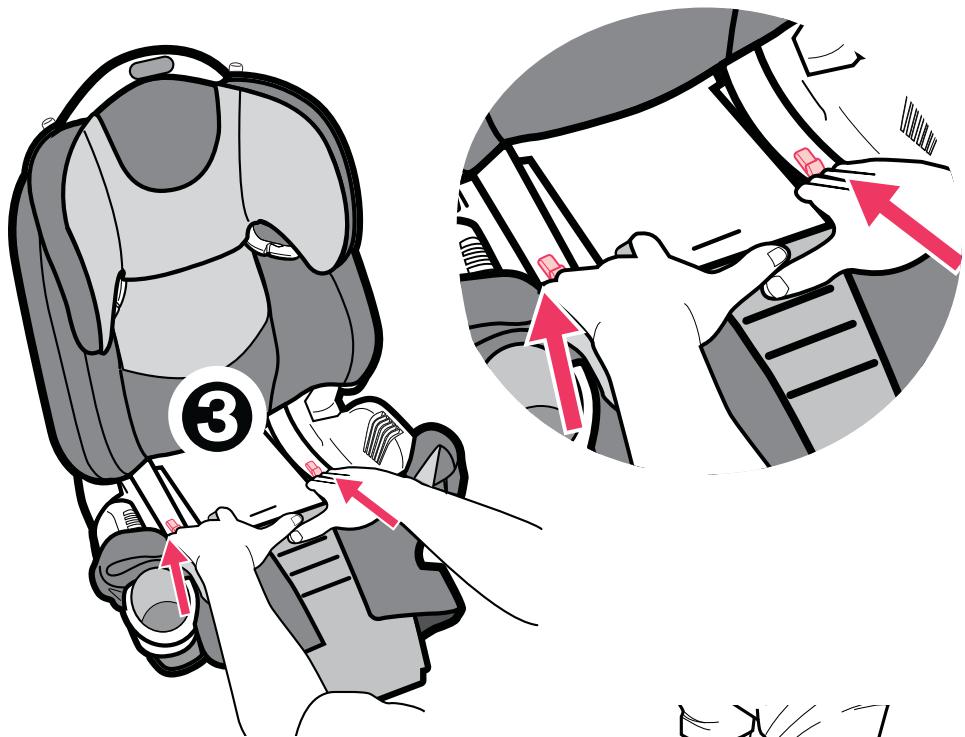
1. ① のように、シート後側下にある2ヶ所のゴムループを取り外します。



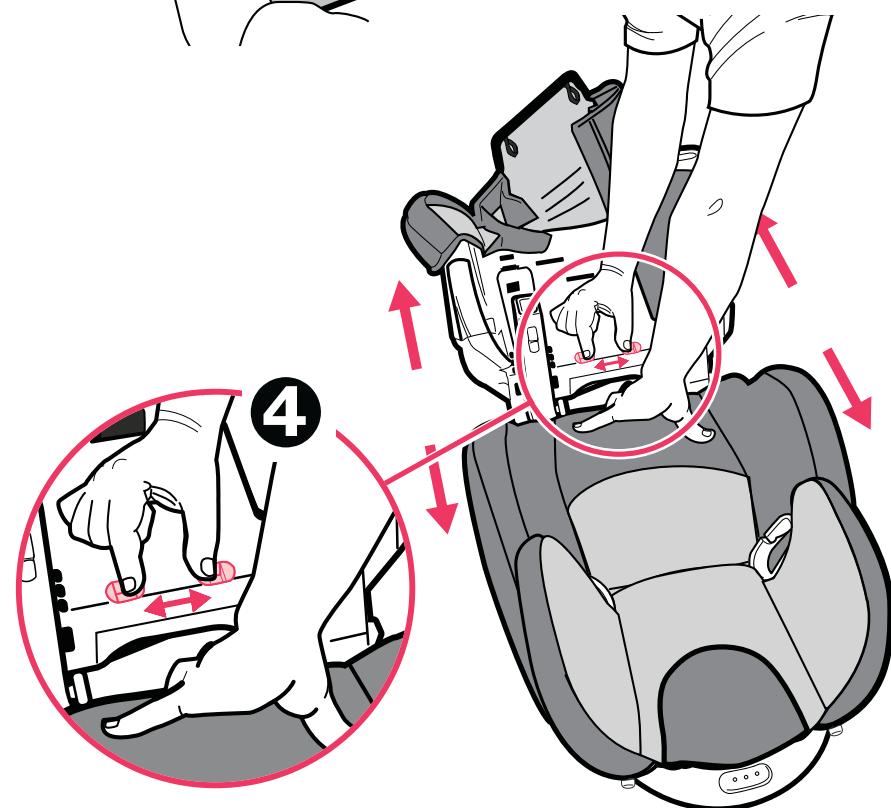
2. ② のようにシート両側の車のシートベルト用ガイドに通したゴムループを外します。反対側も同様にします。



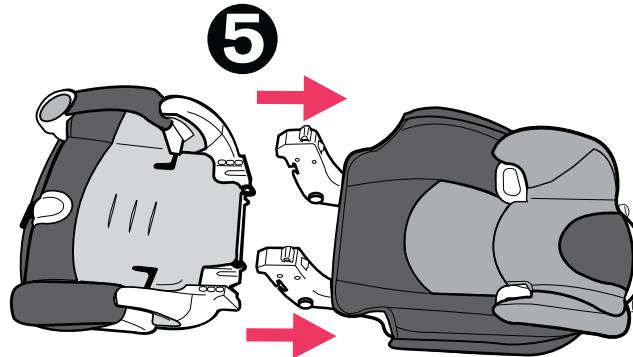
3. シートカバーを引き出して、シート部分にある赤のロックボタンを出します。ボタンをバックサポート側にスライドさせて本体を後方に倒します。このときバックサポートが落下したり、何かに当たったりしないように注意してください③。後方に倒す際、手や指、その他をバックサポートの後側に置かないようにします。



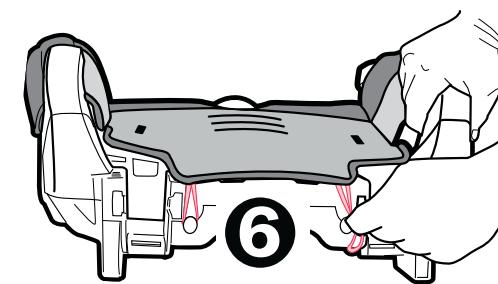
4. シートカバーの生地を取り外し、赤いバックサポートリリースボタンを強く握りながら座部からバックサポートを取り外します④。



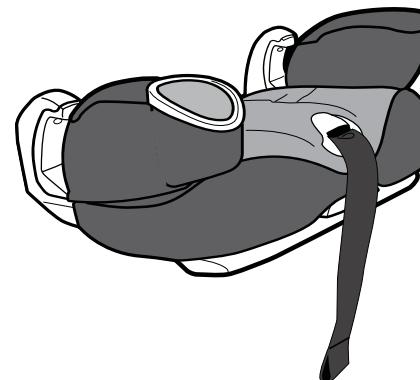
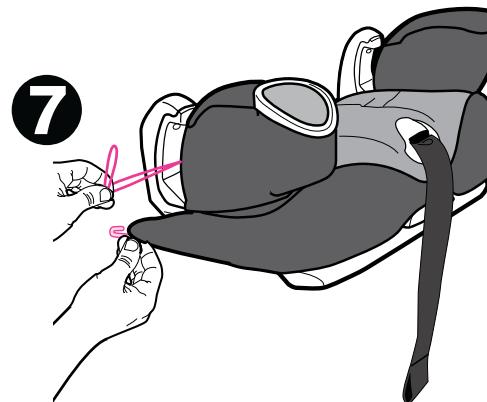
5. バックサポートが外れたら、バックサポートをハーネスストラップ、ハーネスバックル、ヘッドサポート、ランバーサポート、クロッチストラップカバーと一緒に安全な場所で保管します。⑤



6. シート後側のゴムループを再度取り付け⑥、⑦のようにシート両側のラップベルト用ガイドに通します。



7. シートの設置準備は完了です。バックサポートを再度設置する場合には、43～45ページの逆の操作を行ってください。



ショルダーベルト調節クリップの使い方

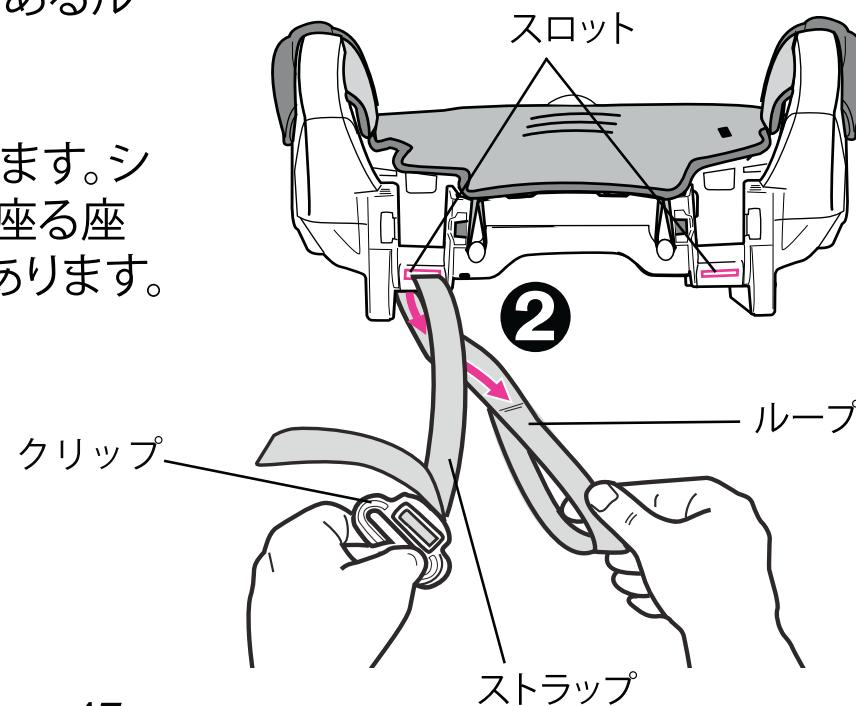
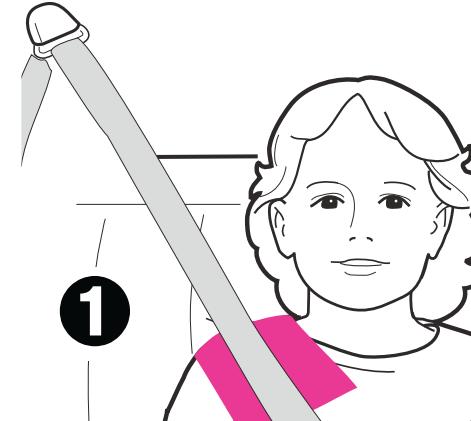
ショルダーベルトは①のように**必ず**お子様の肩にかかるよう装着してください。

ショルダーベルトが肩の赤い範囲以外にある場合①、クリップを**使用する必要があります**。

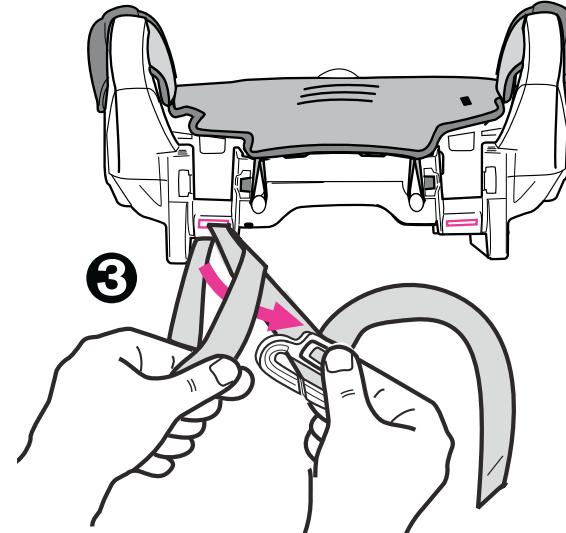
取り付け方法

1. シート後側のスロットにクリップ先端にあるループを差し込みます②。

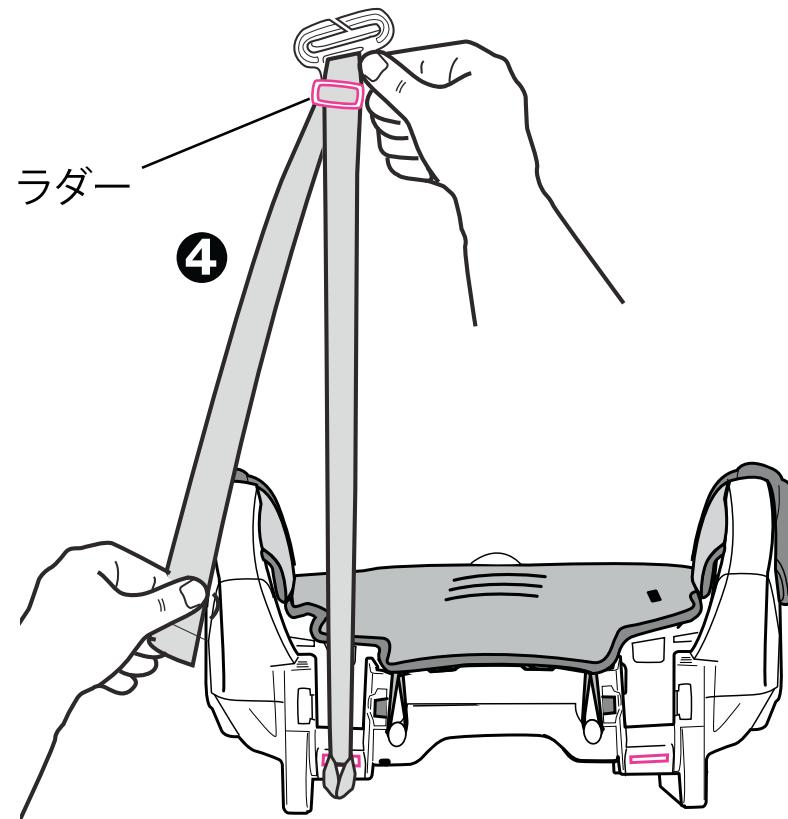
スロットはチャイルドシートの両側にあります。ショルダーベルト調節クリップは、お子様が座る座席のバックル側のスロットに**通す必要があります**。49ページの⑥をご参照ください。



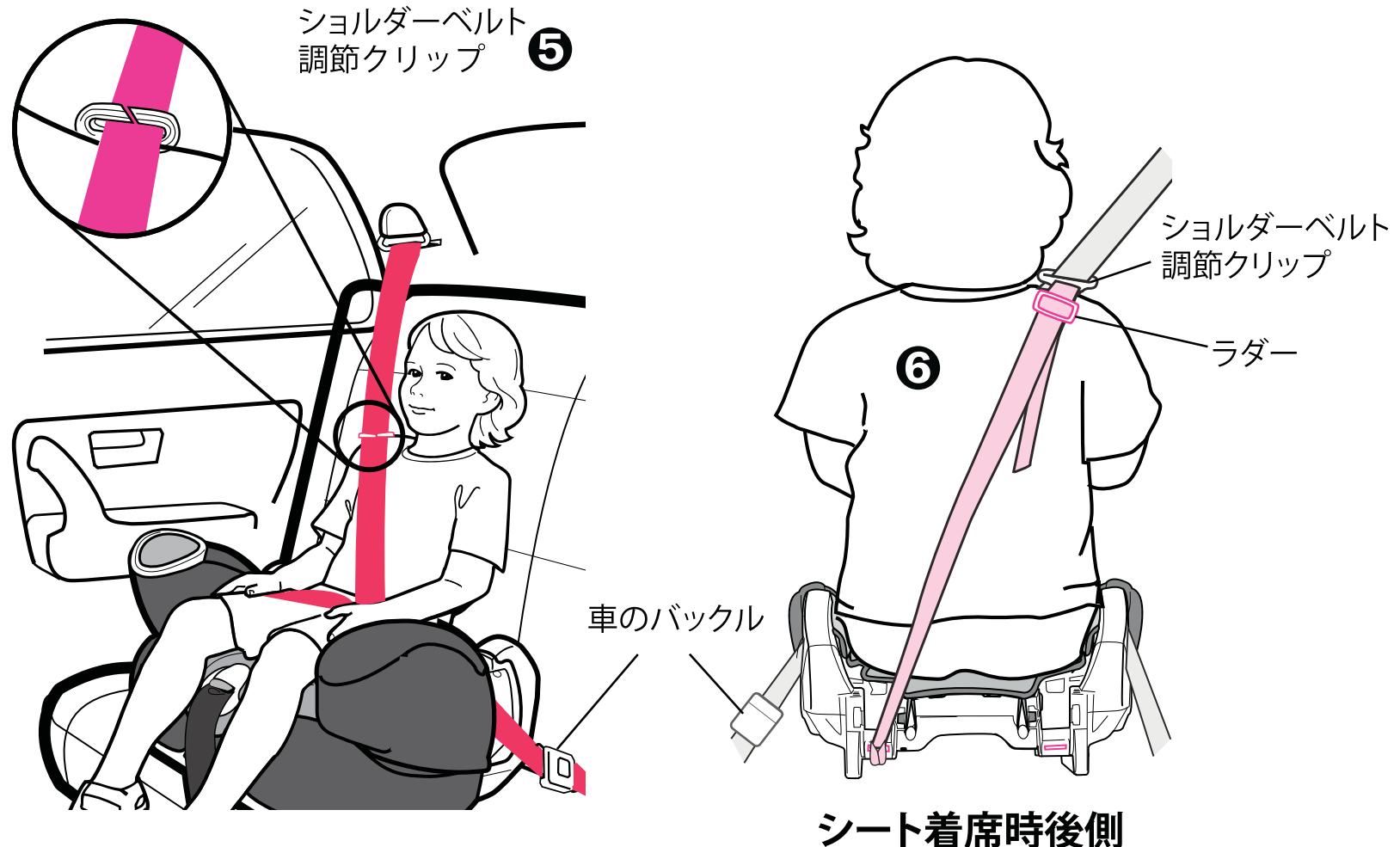
2. クリップをループに通して③、ストラップを引き上げます。



3. 注記: クリップの根元にあるラダーをゆるめてストラップの長さを調節します。ストラップのあまりは④のようにシートの前側にくるようにしてください。



4. ⑤のように、車のショルダーベルトをクリップに通します。クリップの根元にあるラダーをゆるめてストラップの長さを調節し、お子様の肩に合わせます⑥。
ラップベルトはラップベルト用ガイドを通り骨盤位置にあるようにします。
ベルトにねじれのないことを確認します。

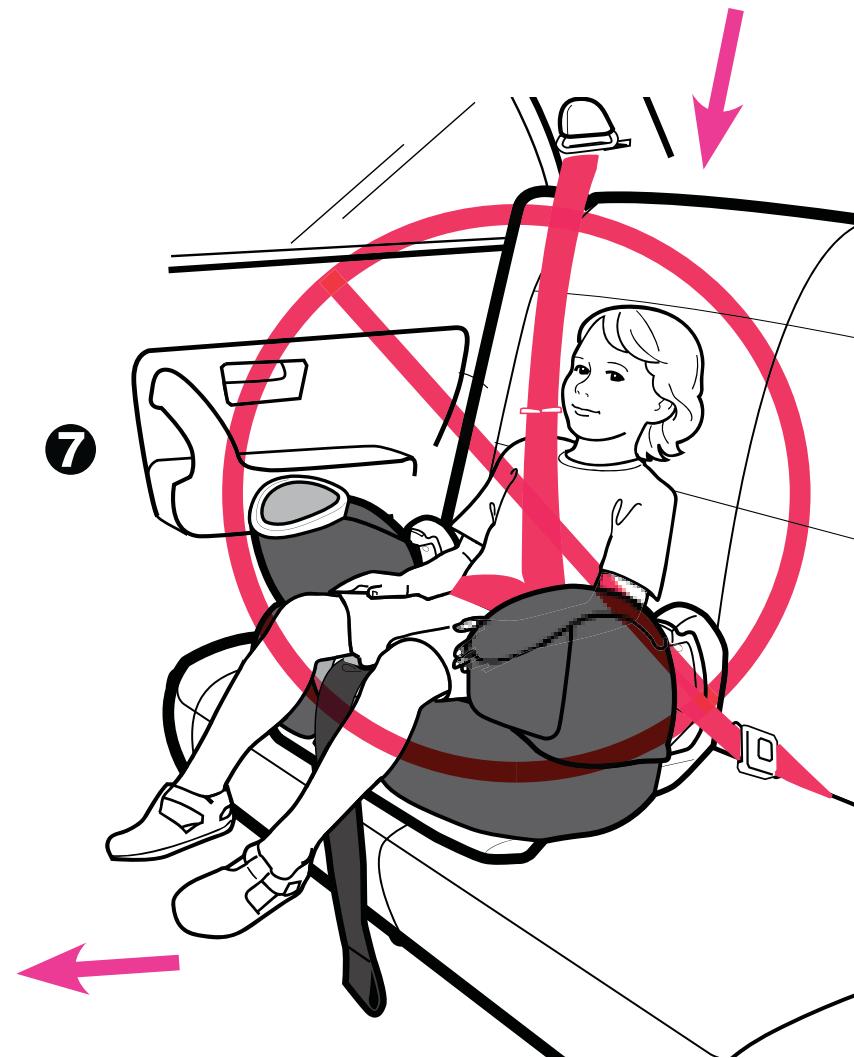


5. ラップベルトは腰部分の必ず骨盤の位置にぴったりと装着してください。

チャイルドシート内でお子様が滑り落ちないようにして下さい ⑦。



正しい



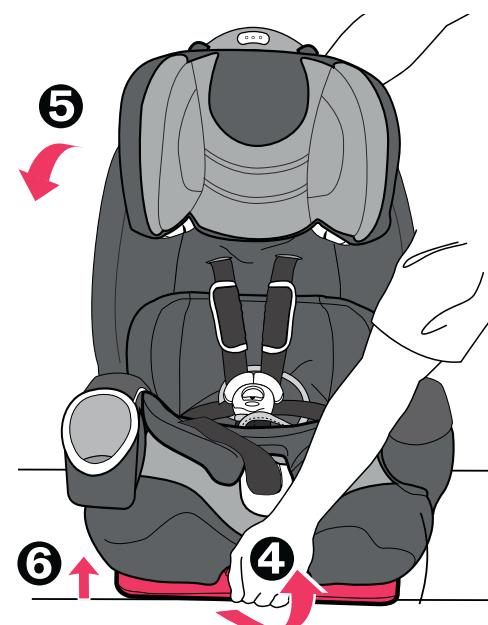
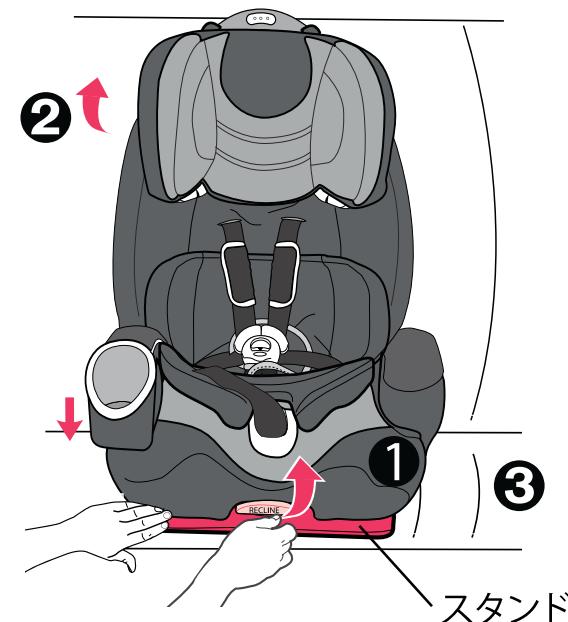
リクライニング

このチャイルドシートは3か所のリクライニング位置でご使用いただけます。チャイルドシートを車の座席に取り付ける前にリクライニングの角度を調節してください。

1. シートをリクライニングするには、リクライニングハンドルを引き出し①、シートの背を傾斜させて②、③のようにスタンドを出します。

2. シートを元の位置に戻すには、リクライニングハンドルを引出し④、シートを前方に起こして⑤、スタンドを中に戻します⑥。

注記:設置完了後にリクライニング操作を行う場合は、シートベルトにたるみがないことを確認してください。



シートカバーの取り外し方

シートカバーは中性洗剤と水をスポンジに含ませて洗浄してください。もし洗濯が必要な場合はカバーを取り外すこともできます。

1. ハーネスとクロッチストラップを取り外します(ハーネスの取り外し31~35ページ参照)。

2. ①②のようにシートからゴムループを取り外します。

3. シートカバーの洗濯

シートカバーは30°C以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。洗濯機は使用しないでください。

塩素系漂白剤は使用しないでください。

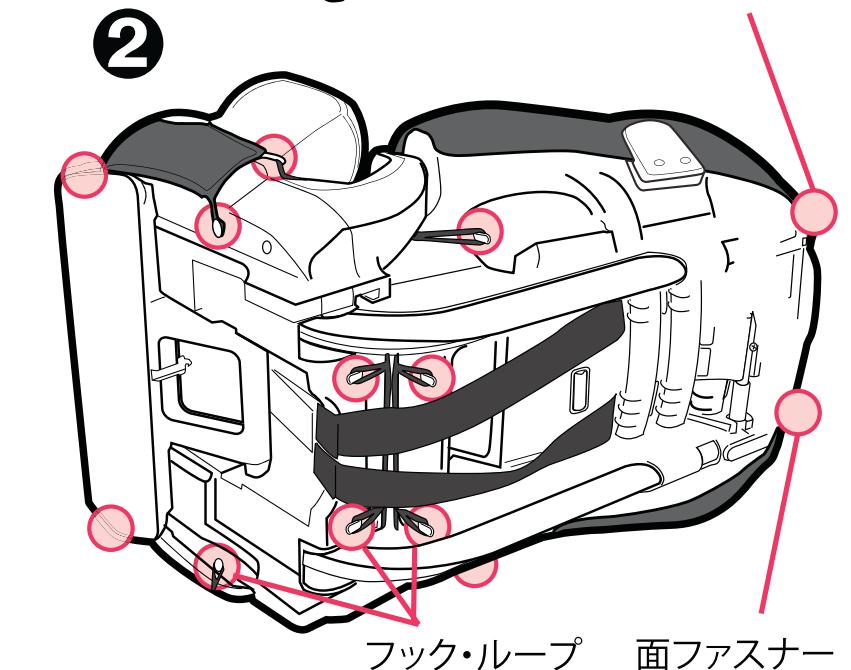
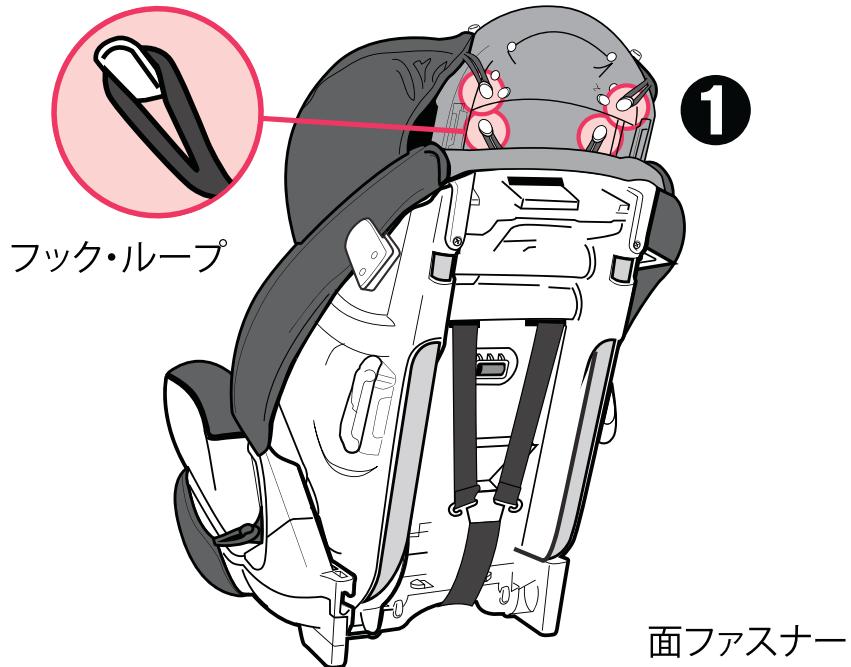
洗濯後は、絞らずに干してください。

ドライクリーニングはしないでください。

陰干してください。

アイロン掛けをしないでください。

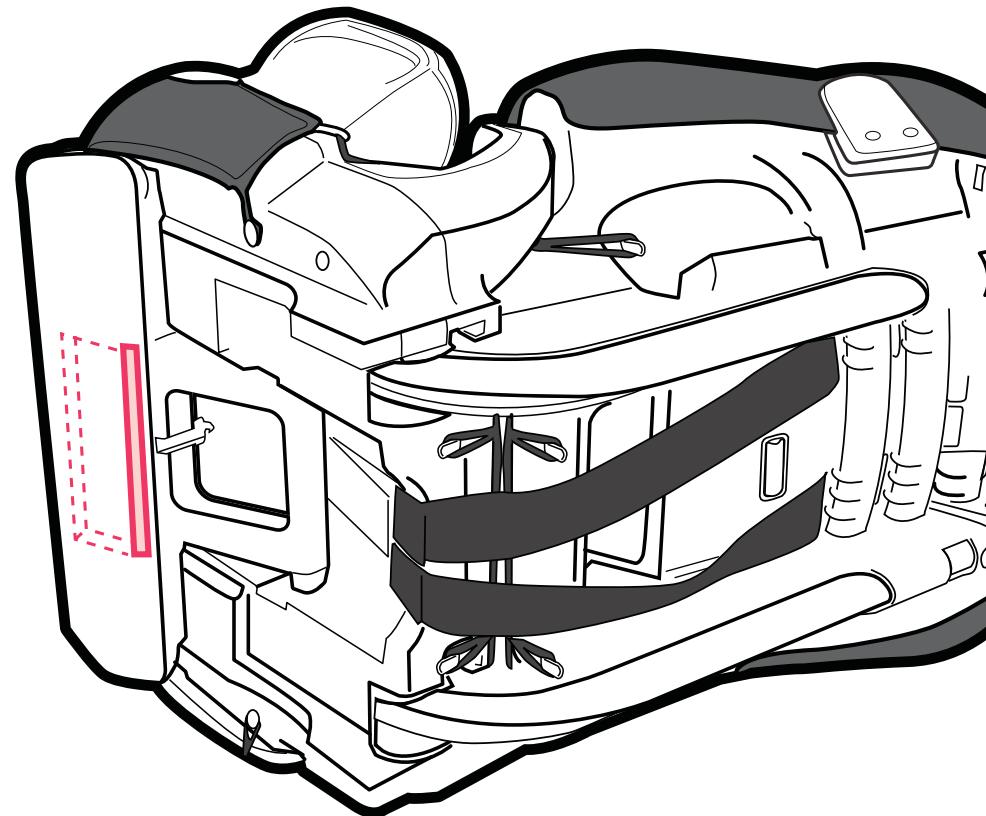
4. 上記と逆の方法でシートカバーを元に戻してください。



取扱説明書の収納場所

取扱説明書は、図に示すシート底部の
スタンドの裏側にあるスロットに収納
することができます。

いざというときのために、本書は
必ず収納場所に保管し、なくなら
ないようにしてください。



保証とアフターサービスについて

- ・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)

また製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

<アフターサービスについての連絡先>

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

<電話連絡先>

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間:AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、当社所定休日を除く)

<製品をお送りいただく場合のみの宛先>

〒632-0221

奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ奈良サービスセンター

(0743)84-2050

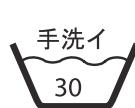
保管の仕方

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
(地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。)

シートカバーの洗濯



保証規定

- 1) 製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 2) 保証期間中に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがつた正常な使用状態で故障した場合は無償修理をいたします。
- 3) 保証期間中でも次の場合には有償になります。
 - a.本書の提示のない場合
 - b.本書にお買い上げ日、販売店の記載がない場合、または字句を書き換えられた場合
 - c.お客様の誤った使い方やお手入れ不良、または改造や不当な修理による故障や損傷
 - d.製品の自然劣化(メッキ部の錆、塗装部の剥がれ、縫製品・樹脂部の紫外線劣化、変色など)
 - e.タイヤ、車輪の摩耗など、消耗品に関するもの
 - f.シートなど縫製品の色あせ、擦り切れ、傷や破れ、その他の破損
 - g.災害や外部要因などによる故障や損傷
 - h.修理に要する運賃などの諸経費
- 4) 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- 5) 一度ご使用になった製品は、原則として他の製品にお取り替えできません。
- 6) 事故や落下などにより、強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- 7) 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective in Japan only
- 8) 業務用、施設用など一般家庭以外で使用された場合は保証いたしかねます。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

本社 / 大阪店: 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13 東京銀座店: 〒104-0061 東京都中央区銀座2-6-12

<お願い>

- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

グレコ・チルドレンズプロダクツとアップリカ・チルドレンズプロダクツは、ニューウェル・ラバーメイドのグループ会社です。